

2018（平成30）年度事業報告書

—2018年4月1日～2019年3月31日—



学校法人 聖隷学園

目次

1	法人の概要		
1	建学の精神	…	1 頁
2	学校法人の沿革	…	2 頁
3	設置する学校・学部・学科等	…	3 頁
4	学校・学部・学科等の学生・生徒・園児数の状況	…	4 頁
5	役員の概要	…	6 頁
6	評議員の概要	…	7 頁
7	教職員の概要	…	8 頁
2	事業の概要		
1	事業の概要	…	9 頁
2	主な事業の目的・計画及びその進捗状況	…	18 頁
3	施設等の状況	…	31 頁
4	その他	…	31 頁
3	財務の概要		
1	決算の概要	…	32 頁
2	経年比較	…	35 頁
3	主な財務比率比較	…	38 頁
4	その他	…	42 頁

1 法人の概要

1 建学の精神

◆ 基本理念 「生命の尊厳を守り、自分のように隣人を愛する」

イエス・キリストが自ら弟子の足を洗い手本を示されたように、行って同じようにすること、人と共にあり、共に生きることを人生の目的と喜びとすること、病人や障害を持つ人、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、クリストファーが危険を冒し、命がけでイエス・キリストを背負ってライン河を渡ったように、これらの人々を大事にケアする人材が本学園から育つことを願っています。また、聖隷学園は地域の人々にとって役に立つ学園であることを願っています。地域社会の発展に貢献する人材、さらには、アメリカ・ヨーロッパや発展途上国で国際的に活躍する人材が巣立っていくことを期待しています。

◆ 聖隷とは

新約聖書のヨハネによる福音書第 13 章に、最後の晩餐のとき、キリストは「食事の席から立ち上がって上着を脱ぎ、手ぬぐいをとって腰にまとわれた。それから、たらいに水を汲んで弟子たちの足を洗い、腰にまとった手ぬぐいでふき始められた・・・」とあります。当時、人の足を洗うことは奴隷の仕事でしたが、キリストは弟子たちに行動を以って最後の教えを示しました。「聖隷」の名はこの箇所由来しています。1926 年（大正 15 年）4 月、長谷川保ら 10 人ほどのクリスチャンの若者たちは、奴隷の形をとって弟子たちの足を洗われるキリストの姿をクリスチャンの理想の生き方と考え、自分たちもキリストに倣い、「聖なる神の奴隷」となって世の人々に仕える生き方をしようと社会福祉事業を目的として聖隷社を創立。ここから「聖隷」の歴史が始まりました。

◆ クリストファーとは

「キリストを運ぶもの・担うもの」という意味で、3 世紀半ば頃の半伝説的な殉教者の名前です。世界で最も強い人に仕えたいと願った彼が、王様や悪魔の家来を経て、最後にたどり着いた師がキリストでした。そして、この伝説の最後で彼は少年に姿を変えたキリストをそうとは知らずに背負って川向こうまで運ぶのですが、その少年（キリスト）は世界のすべての罪と苦しみを背負い、誰よりも重かったのです。以後、「クリストファー」はキリスト教の精神を担うことの高貴さを表す名称としてヨーロッパ諸国に広まってきました。聖隷の創立者・長谷川保は、クリストファーがキリストを背負ったように、病人や障害者、お年寄りの不安や苦痛、悲しみを理解し、大事にケアする人が育ってほしいとの願いから、校名を「聖隷クリストファー」と命名しました。

◆ シンボルマークの由来



外側の二重円は、最後の晩餐でイエス・キリストが弟子たちの足を洗った「たらい」を表現。内側の 3 つの円は、聖隷グループが使命とする医療、福祉、教育を象徴。中央の十字架はキリスト教を示し、聖隷のすべての事業が、キリスト教会の中から始まったことを示しています。故アルバート・アットウェル（アメリカ人、1978～1981 年聖隷学園に奉職）により 1980 年（昭和 55 年）に聖隷のシンボルマークが考案されました。

2 学校法人の沿革

1930 年	ベテルホームに結核患者収容開始
1936 年	浜松市三方原町の県有地 7 ヘクタール (21,000 坪) 払下げになる
1939 年	迫害が激しくおこり経営困難極まる 12 月天皇陛下より特別御下賜金を受ける
1949 年	各種学校遠州キリスト学園開設
1952 年	聖隷准看護婦養成所開設
1966 年	学校法人聖隷学園設立 聖隷学園高等学校設置
1969 年	聖隷学園浜松衛生短期大学設置
1980 年	聖隷学園浜松衛生短期大学専攻科助産学特別専攻開設
1988 年	聖隷介護福祉専門学校設置
1992 年	聖隷クリストファー看護大学看護学部設置
1998 年	聖隷クリストファー看護大学大学院看護学研究科 (修士課程) 設置
2001 年	聖隷学園高等学校を「聖隷クリストファー高等学校」に名称変更
2002 年	大学に社会福祉学部を増設し、「聖隷クリストファー大学」に名称変更 短期大学を「聖隷クリストファー大学看護短期大学部」とする
2003 年	聖隷クリストファー高等学校移転改築
2004 年	大学にリハビリテーション学部、大学院に社会福祉学研究科 (修士課程) を設置 看護短期大学部看護学科を募集停止し、看護学部を定員増
2006 年	大学院にリハビリテーション科学研究科 (修士課程) を設置 高等学校に英数科を設置
2007 年	聖隷クリストファー大学看護短期大学部専攻科助産学特別専攻を廃止し、 大学に助産学専攻科を設置
2008 年	大学院に保健科学研究科 (博士後期課程) を設置 大学社会福祉学部にごども教育福祉学科を設置
2009 年	聖隷クリストファー中学校設置
2010 年	大学看護学部にご養護教諭課程開設
2011 年	聖隷クリストファー大学附属クリストファーごども園開設 大学社会福祉学部を社会福祉学科、臨床介護福祉学科及びごども教育福祉学科に改編 大学リハビリテーション学部を理学療法学科、作業療法学科及び言語聴覚学科に改編 大学院を看護学研究科、社会福祉学研究科、リハビリテーション科学研究科の 各博士前期課程・博士後期課程に改編
2013 年	大学社会福祉学部臨床介護福祉学科を、「介護福祉学科」に名称変更 大学院保健科学研究科廃止
2016 年	聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校開設

3 設置する学校・学部・学科等（2018年5月1日現在）

設置する学校	開設年	学部等	学科・専攻等	摘要
聖隷クリスファー大学	1992年	看護学部	看護学科	
	2007年	助産学専攻科		
	2002年	社会福祉学部	社会福祉学科	2011年度より3学科に改編 2013年度「臨床介護福祉学科」を「介護福祉学科」に名称変更
	2008年		こども教育福祉学科	
	2011年		介護福祉学科	
	2004年	リハビリテーション学部	理学療法学科	2011年度より3学科に改編
			作業療法学科	
			言語聴覚学科	
	1998年	大学院看護学研究科 博士前期課程（修士課程）		
	2011年	大学院看護学研究科 博士後期課程		
	2004年	大学院社会福祉学研究科 博士前期課程（修士課程）		
	2011年	大学院社会福祉学研究科 博士後期課程		
	2006年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士前期課程（修士課程）		
2011年	大学院リハビリテーション科学研究科 博士後期課程			
聖隷クリスファー大学 介護福祉専門学校	2016年	介護福祉学科		
聖隷クリスファー高等学校	1966年	普通科		1974年衛生看護科から移行
	2006年	英数科		
聖隷クリスファー中学校	2009年			
聖隷クリスファー大学附属 クリスファーこども園	2011年			

4 学校・学部・学科等の学生・生徒・園児数の状況（2018年5月1日現在）

聖隷クリストファー大学・大学院

（単位：人）

		収容 定員	在籍者数				
			1年	2年	3年	4年	合計
大学院	看護学研究科	35	17	16	12	-	45
	博士前期課程	20	11	11	-	-	22
	博士後期課程	15	6	5	12	-	23
	社会福祉学研究科	29	6	8	4	-	18
	博士前期課程	20	3	4	-	-	7
	博士後期課程	9	3	4	4	-	11
	リハビリテーション科学研究科	35	13	18	8	-	39
	博士前期課程	20	10	15	-	-	25
	博士後期課程	15	3	3	8	-	14
大学院合計		99	36	42	24	-	102
大学	看護学部	595	174	153	155	163	645
	看護学科	595	174	153	155	163	645
	助産学専攻科	15	17	-	-	-	17
	社会福祉学部	465	63	82	75	86	306
	社会福祉学科	170	36	33	36	35	140
	介護福祉学科	135	6	11	7	12	36
	こども教育福祉学科	160	21	38	32	39	130
	リハビリテーション学部	370	111	106	104	110	431
	理学療法学科	150	47	45	45	39	176
	作業療法学科	120	34	32	34	37	137
	言語聴覚学科	100	30	29	25	34	118
	大学合計		1,445	365	341	334	359
総合計		1,544	401	383	358	359	1,501

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

（単位：人）

		収容 定員	在籍者数		
			1年	2年	合計
専門学校	介護福祉学科	80	21	24	45
総合計		80	21	24	45

聖隷クリストファー高等学校

(単位：人)

	総定員	在籍者数			
		1年	2年	3年	合計
英数科	282	49	49	64	162
普通科	600	215	199	244	658
総合計	882	264	248	308	820

聖隷クリストファー中学校

(単位：人)

	総定員	在籍者数			
		1年	2年	3年	合計
総合計	210	47	45	51	143

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

(単位：人)

	総定員	在籍者数							合計
		0歳	1歳	2歳	満3歳	3歳	4歳	5歳	
定員	225	15	15	15		60	60	60	225
1号認定	135				1	46	47	47	141
2.3号認定	90	3	15	16		15	15	15	79
総合計		3	15	16	1	61	62	62	220

5 役員概要

2019年3月31日現在
定員数 理事13名、監事2名

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
理事長	長谷川 了	常 勤	1980年3月理事就任 1980年4月専務理事就任 1989年4月理事長就任
専務理事	小柳 守弘	常 勤	2006年5月理事就任 2006年11月法人事務局長就任 2012年11月専務理事就任（法人事務局長兼任）
理 事	大城 昌平	常 勤	2017年4月聖隷クリスティア-大学学長就任 2013年5月理事就任
理 事	茨城 久一郎	常 勤	2016年4月聖隷クリスティア-中・高等学校校長就任 2016年4月理事就任
理 事	永井 英司	常 勤	2013年4月聖隷学園宗教主任就任 2016年11月理事就任
理 事	藤本 栄子	常 勤	2016年4月聖隷クリスティア-大学看護学部長就任 2016年5月理事就任
理 事	横尾 恵美子	常 勤	2012年4月聖隷クリスティア-大学社会福祉学部長就任 2016年4月聖隷クリスティア-大学介護福祉専門学校校長就任 2017年5月理事就任
理 事	太田 雅子	常 勤	2011年4月 聖隷クリスティア-大学附属クリスティア-こども園総園長就任 2012年5月理事就任
理 事	君島 功	非常勤	2018年5月理事就任 （東京海上日動火災保険株式会社浜松支店長）
理 事	山本 敏博	非常勤	2001年4月理事就任 （聖隷福祉事業団理事長）
理 事	荻野 和功	非常勤	2003年4月理事就任 （聖隷三方原病院院長）
理 事	岡 俊明	非常勤	2018年11月理事就任 （聖隷浜松病院院長）
理 事	中村 勇	非常勤	2016年4月理事就任 （東京海上日動ベータライフサービス株式会社 取締役社長）
監 事	俵山 初雄	非常勤	2009年4月監事就任 （静岡県西部地域しんきん経済研究所 理事長）
監 事	平井 章	非常勤	2011年4月監事就任 （十字の園理事長）

前会計年度の決算承認に係る理事会開催日後の退任役員

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要

2018年3月31日以降の異動状況

区分	氏名	常勤・非常勤の別	摘要
【退任】			
理 事	小川 義文	非常勤	2018年3月理事退任
理 事	鳥居 裕一	非常勤	2018年11月理事退任
【就任】			
理 事	君島 功	非常勤	2018年5月理事就任
理 事	岡 俊明	非常勤	2018年11月理事就任

6 評議員の概要

2019年3月31日現在
定員数 27名

氏名	主な現職等
長谷川 了	学校法人聖隷学園 理事長
小柳 守弘	学校法人聖隷学園 専務理事・法人事務局長
大城 昌平	聖隷クリストファー大学 学長
茨城 久一郎	聖隷クリストファー中・高等学校 校長
藤本 栄子	聖隷クリストファー大学看護学部 学部長
横尾 恵美子	聖隷クリストファー大学社会福祉学部 学部長兼介護福祉専門学校 校長
太田 雅子	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 総園長
君島 功	東京海上日動火災保険株式会社 浜松支店長
大野 和男	聖隷クリストファー中・高等学校 宗教部長
新宮 尚人	聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部 学部長
大友 信勝	聖隷クリストファー大学大学院社会福祉学研究科長 (大学院三研究科長代表)
上村 敏正	聖隷クリストファー中・高等学校 副校長
敷浪 いづみ	聖隷クリストファー中・高等学校 教頭
山根 之雄	学校法人聖隷学園 法人事務局 財務部長
中村 憲司	聖隷クリストファー大学 総務部長
鈴木 聡	学校法人聖隷学園 法人事務局 企画部長
紅谷 純	聖隷クリストファー大学 同窓会会長
木村 忠雄	聖隷クリストファー大学 同窓会副会長
中村 純子	聖隷クリストファー高等学校 同窓会長
小尾 誠	聖隷クリストファー大学・介護福祉専門学校 後援会長
重松 明広	聖隷クリストファー中・高等学校 P T A会長
長澤 道子	(社)牧ノ原やまばと学園 理事長
藤島 一郎	浜松市リハビリテーション病院 院長
稲松 義人	(社)小羊学園 理事長
加藤 成久	(社)神戸聖隷福祉事業団 理事
森本 俊子	(社)聖隷福祉事業団聖隷浜松病院 総看護部長
堀口 路加	学校法人堀口学園 理事長、(社)愛の園福祉会 理事長

7 教職員の概要（2018年5月1日現在）

聖隷クリストファー大学・大学院 教員数

（単位：人）

	専任					兼任	合計
	教授	准教授	講師 助教	助手	計		
看護学部	16	15	19	0	50	49	99
社会福祉学部	14	6	6	0	26	66	92
リハビリテーション学部	14	7	8	0	29	65	94
助産学専攻科	1	1	1	0	3	30	33
合計	45	29	34	0	108	210	318

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 教員数

（単位：人）

	専任	兼任	兼任	合計
介護福祉学科	4	24	0	28

聖隷クリストファー高等学校 教員数

（単位：人）

	専任	兼任	合計
普通科・英数科	40	43	83

聖隷クリストファー中学校 教員数

（単位：人）

	専任	兼任	合計
中学校	11	7	18

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 教員数（調理員等含む）

（単位：人）

	専任	準職	合計
	17	18	35

※準職員は7.75hで1名換算

職員数

（単位：人）

	専任	準職	派遣	合計
法人	14	3	5	22
聖隷クリストファー大学 聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校	42	7	3	52
聖隷クリストファー中・高等学校	5	3	0	8
クリストファーこども園	3	17	0	20
合計	64	30	8	102

2 事業の概要

1 事業の概要

(1) 法人全体

①メディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想

国政として国際基準に合わせた医学教育（2023年以降）の改革が掲げられています。この対応としてメディカルスクール（医学系専門職大学院）設置構想を掲げています。

過去6年制医学部から4年制メディカルスクール（学部卒業）に移行したハーバード大学医学部、デューク大学医学部シンガポール校、オーストラリアディーキン大学・モナッシュ大学、マレーシア、韓国（ソウル近郊）、フィリピンにおける医師養成状況事例を資料にまとめ検討材料の基礎としています。

②小学校設置構想

建学の精神であるキリスト教精神に基づいたこども園から専門職大学院（メディカルスクール）までの一貫したグローバル化の構築に向けた聖隷学園中長期経営計画（2019年度から2025年度まで）を策定しました。2020年4月キリスト教精神を基盤とした英語イマージョン教育による小学校設置に向けて、小学校設置プロジェクトを中心に骨子（教員招聘、教育課程、教育課程特例申請、生徒募集、校舎建築）をまとめました。こども園から小学校、中・高等学校につながる英語教育を展開しながら、大学、メディカルスクール（医学系専門職大学院）進学を見据えたグローバル化を図るため、学園全体で連携して検討していくための準備を進めています。

③グローバルスクール設置構想

小学校から中学、高等学校まで一貫したイマージョン・探究型教育を行い、独自性を明確にしたグローバルスクールと位置づけします。今後組織、教員配置、教育課程等具体的にします。

④中長期人事政策に向けた取組み

今後将来的に納付金や補助金の増額が見込めない一方、アベノミクス政策により人件費比率は毎年1%近く増加していく見通しがあり、財政的に非常に厳しい状況になっていきます。大学、中高の教員配置計画、教員年齢問題対応を含めた特任教員配置計画ならびに非常勤講師配置計画について、人件費比率を大学では63%、中高では60%、こども園では70%以下を前提とした人事政策を実施していきます。そのひとつとして、教職員人事評価制度について、客観的説得力のある評価と処遇反映によるやりがいのある制度の構築に向けて、評価基準の整備、処遇反映方法等の調整を行いません。こども園、事務職員に加え、2018年度から大学教員に新人事評価制度を導入しました。中高等学校教員は関連規程の整備を終え、2019年4月から新人事評価制度の運用を開始します。

また、2017年度より大学教員新規採用者（助教）に任期制度を導入し、2018年度以降は教授、准教授への適用しています。看護学部については教員確保のため当面、助教のみに任期制を適用します。

⑤地域における交流と信頼関係づくり

三方原地区における聖隷グループの各施設が共通する課題について話し合い、協調を図っていくことを趣旨として三方原サミットを開催しました。2018年度は小羊学園が進行担当法人として、「礼拝の共有・協力」について意見交換を行いました。また、災害時対応として、水害を想定し、三方原サミット災害対策本部、三方原サミット各施設合同でトランシーバーによる情報収集訓練を行いました。今後も定期的に訓練を実施していきます。

10月には、第9回キリスト教信徒交流会を開催しました。小羊学園が担当法人となり、「神と隣人に仕える わたしの喜び」をテーマに講演が行なわれました。聖隷グループ各法人で働くクリスチャンを中心に約80名が参加され、信徒交流を図りました。

(2) 聖隷クリストファー大学

聖隷クリストファー大学は、キリスト教精神による生命の尊厳と隣人愛に基づき人格を陶冶すると共に、広い知識と深い専門の学芸を教授・研究し、保健医療福祉分野の看護、リハビリテーション及び福祉の専門職業人を育成して、人類の健康と福祉に寄与することを目的としています。

中長期事業計画「未来創造躍進プラン」のもと、特に社会福祉学部・学科の再編による抜本的改革、教員組織の構築と教員評価制度の実質運用、学園全体のグローバル人材養成構想に沿って大学のグローバル化の推進しました。

2019年度は2018年度の事業を振り返り、継続発展させていくとともに、下記5点のことを重点課題とし取り組みます。

- (1) 建学の精神を基盤とした教育および人材育成
- (2) 学部・学科・研究科の強みの強化・発展と打ち出し
- (3) 社会福祉学部の学科再編および小学校教諭養成課程による人材養成の発展と定員確保
- (4) 内部質保証システムの再整備および教学マネジメント体制の構築：アセスメントポリシーに基づいた学修成果の可視化
- (5) 地域連携および国際化の進展と発展

2018年度の事業について

<学部>

1) 看護学部：

看護学部では、シミュレーション教育の推進のために、シミュレーション教育の環境整備を行い、実質運用を開始しました。また、地域医療を支える看護師のレベルアップに向けた特定行為研修の運営体制を整え、指定研修機関として認定されました。

2) 社会福祉学部：

社会福祉学部では、介護福祉学科の学生募集が低迷する中、社会福祉学科と介護福祉学科の再編に伴う教育課程やコース設定について検討しました。2020年度から学部・学科の再編を決定しました。また、2019年度から始まることも教育福祉学科の小学校教員養成課程について準備しました。

3) リハビリテーション学部：

国際的な保健医療福祉の課題解決ができるグローバル人材の育成のために、2019年度から開設する国際リハビリテーションコースのコース設計、カリキュラム構築など、コース開設の準備しました。

<大学院>

看護学研究科において、既存のコースに加え在宅看護専門看護コースの申請を進め、高度実践看護コースの充実を図りました。リハビリテーション科学研究科においては、アジア圏の保健医療福祉・教育機関との学術交流の推進を図ることを目的に、交流協定大学等との国際コンファレンスを本学で開催しました。社会福祉学研究科では、今までの国際交流協定校との交流実績を踏まえ、研究連携を図り、研究連携を発展させました。

<全学>

1) 入試広報・学生募集：

学生募集活動として、オープンキャンパス、高校生対象講座、専門職体験セミナーなどを開催し、高校生が専門職について理解し体験する機会を提供しました。

看護学部は、高大連携事業として市内の進学校5校で高校生を対象とした授業もしくは部活動応援プログラムを行ったほか、オープンキャンパスでのウェルカムイベントの充実、教員による高校訪問の継続等を実施しました。

社会福祉学部では教員による高校訪問の強化や各学科による講演会、セミナー等の開催を行いました。こども教育福祉学科では、2019年度に開設する小学校教諭教職課程設置の広報に注力したほか、介護福祉学科では聖隷クリストファー高校で授業「労作」の講義を1年生、3年生を対象に各クラスで実施しました。

リハビリテーション学部では2019年度に開設する「国際リハビリテーションコース」の告知および説明会の開催を行いました。また教員と在学生が高校に出向いての部活動応援プログラム等を継続しています。

各学部にて様々な募集活動を実施した結果、看護学部、リハビリテーション学部各学科、社会福祉学部社会福祉学科は入学定員を満たしました。社会福祉学部介護福祉学科およびこども教育福祉学科は、入学定員には満たなかったものの、昨年度を上回る入学者を得ました。

入試については、国が進める高大接続改革を見据え、2021年度入試（2020年度実施）からの新たな入試制度の検討・概要の公表を行いました。

2) 教務：

「CAP 制見直し（GPAによる上限緩和制度の導入）」「アセスメント・ポリシーの明確化」「シラバスの意義に関するFDの実施」「小学校教諭養成課程の準備」「養護教諭、幼稚園教諭養成課程再課程認定」「保育士養成課程改正対応」など教育改善を進めてきました。

大学教育の質の向上、学生が身に付けた能力・付加価値の見える化、その情報公開が求められています。卒業時に身に付けておくべき能力の質的水準をDPルーブリックとして定め、学修成果の可視化を図ります。学生の成長を促すために自己評価と教員の評価による相互評価を行うことができる学習支援システムのWebclass（LMS+eポートフォリオ）を導入する準備をしてきました。学生のパソコン必携化とあわせて学生が主体的に学修できる環境をめざしています。

3) 就職・キャリア支援：

2017年度に実施した大学の教育に関するアンケートより「社会のルールや人との約束を守る力」が求められていることが分かったことから、これに応える講座を行いました。また、卒業生の母校への絆を育成することが就職・キャリア支援の一助となるよう活動しました。具体的には、卒業生に向けてリカレント教育として公開講座など学びなおしの機会を設け、WEBキャリア支援センター、広報誌クリストファー、SNSなどにより情報を継続的に発信しました。また、大学と卒業生、卒業生同士の繋がりを強くするよう、同窓会の講演会・セミナー、同窓会報、同窓会の神戸開催などの同窓会活動の支援を行ないました。

4) 学生支援：

学友会の活性化に学生と取り組み、聖灯祭では「ふくし楽市」を開催、近隣の福祉施設や団体に例年以上の参加をいただきました。また、サークル団体を中心に「学内清掃強化月間」を設け、学内の清掃活動にも力をいれてくれました。

学習のつまづき支援として 2019 年度からの学習支援室の開室準備をしました。週 2 回、学習アドバイザーをお願いすることになりました。

学生表彰規程を整備し、本学の名誉を高め、または社会的に高い評価を受け、他の学生の模範となると認められる学生もしくは学生団体に対し、学生表彰を行いました。個人は成績優秀者が各学科・助産学専攻科および大学院各研究科 1 名、団体は学友会が表彰されました。

5) グローバル教育推進：

海外研修はシンガポール・中国、初めてオーストラリアへ、国際専門研修はアメリカ・シンガポールへ、国際実習はシンガポール・タイ・中国へと派遣 9 プログラムに 73 名の学生が参加しました。交流協定締結校などからの研修生の受入れに参加した本学学生は、6 プログラムなどに約 80 名でした。第 2 回国際シンポジウムを開催し、本学および中国、アメリカ（インターネット会議）から 4 名のシンポジストが「高齢者の栄養に関する現状と課題」をテーマに講演をし、シンガポール、中国の教員・学生 38 名が参加をしました。留学生は、2018 年 4 月に 2 名（中国、ベトナム）が大学院リハビリテーション科学研究科に入学しています。国際支援アクティブラーニングは 2020 年度の授業開始に向けて 5 つのプログラム（浜松市、インド、カンボジア、ベトナム、アメリカ）の調査を行い、実施の準備をしています。

6) 地域貢献：

「浜松市と聖隷クリストファー大学との包括連携に関する協定」に則り、諸事業を実施しました。事業の中の一つに位置付けられている「大学生による講座（協働センター講座）」に多数の学生と教員が関わり、地域活動の活性化と学生への教育効果が高まりました。

（3）介護福祉専門学校

開設 3 年目の専門学校は、建学の精神である生命の尊厳と隣人愛を基本とした教育活動・行事等の充実した運営を行なってきました。専門学校の特徴である「礼拝」や「終わりの会」を大切に学生による運営がスムーズに行えるように支援し、それらを通し自分で考え行動でき、礼節を知る学生に育つよう教員全員が学生ひとりひとりを大切にし、質の高い教育実践を追及してきました。また、社会福祉学部と一体となった教育を重視し、学部教員による授業の実施や大学社会福祉学部介護福祉学科の学生との合同の事例発表会、余暇活動などを実施しました。

学生募集については、生募集活動の工夫と強化により前年度よりも多くの入学者を確保できました。しかし、厳しい状況は続いており入学者目標数（30 名）には至りませんでした。

1) 入学者を確保するための学生募集活動

高校生、保護者の介護に関するイメージ向上を図るため、オープンキャンパス、高校内ガイダンスなどを通して教員および介護現場で働く方から、介護の魅力・やりがい・将来性などを伝えました。また、本校の特長である「豊富な就職先」「充実した経済的サポート」「大学レベルの教育」「多様な進路」を分かりやすくアピールしました。オープンキャンパスは前年度を上回る参加があり、最終的に 27 名の入学に繋がりました。このうち、外国人留学生が昨年に続き 2 名入学しています。

2) 「求められる介護福祉士像」を実現するための教育活動の充実

- ① 厚生労働省の示す介護福祉士像と、介護福祉士養成施設協会(介養協)の示す教育目標を達成するための教育活動の充実

厚生労働省の示す介護福祉士像を履修要項に掲載し、学生が理解できるように、オリエンテーション時や授業時に丁寧な説明を行いました。指定科目の教育に当たり養成施設の示す教育目標を達成するために、教えるべき内容がシラバス全てに含まれているかを、全教員で確認し、重複や漏れのないよう精査し、教育活動の充実を図りました。

- ② 満足度の高い授業展開を図る

授業展開において教育の質の向上を図るために、授業ごとのフィードバックを必ず行うようにしました。その上で学生の意見を把握し、必要な改善があれば取り入れ、その意見を教員が共有することで、個々の授業展開にも活かせるようにしました。教員研修会も行い、授業展開の質の向上に努めました。また、私語の出ないような授業展開を図るための工夫や私語についての指導法についても教員間で話し合い、効果的な方法を実施できるようにしました。

3) 学生支援の充実を図る

将来の就職先につながる奨学金支援法人(14法人の管理職者)から、その法人の運営や介護福祉士の役割・働きなどを話してもらう等、学生が自立して自分の将来像を描くことができるように、そのことにより学修意欲が向上するように支援しました。また、卒業後に福祉分野のより高い専門性と知識を修得することを希望する学生が学園内推薦編入学制度を利用し、3年次編入学を早期に決めて学修を継続できるよう支援しました。3名が学内推薦編入学制度を利用し進学を決めました。

学生生活を豊かなものにするために、大学生と専門学校生と一緒に活動する学友会、サークル、聖灯祭実行委員会等の課外活動に専門学校生が積極的に参加できるよう教職員が支援しました。聖灯祭で行った「ふくし楽市」は担当教員がサポートしながら、学生(社会福祉学部学生も含む)が運営、多くの参加施設、参加者を得られました。

4) 留学生の受け入れの促進

外国人留学生が、国家試験問題を回答できるレベルになるまで、日本語教育と専門科目の補修指導を行っています。日本語教育のモデルとするため、ノウハウを蓄積しています。

また、近隣の日本語学校と連携しながら、介護福祉士教育の魅力を外国人留学生に伝えています。

(4) 聖隷クリストファー中・高等学校

1. 本校の目標

本校の教育目標を以下に掲げました。

- ①建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書の言葉をもとに、真理と愛に立脚し「人のために役立つ」姿勢をもち、明るい未来を拓き実践する人材の育成を目指す。
- ②「隣人愛を基盤とした聖隷学園一貫グローバル人材推進構想」を実現し、日本と世界に発信し、地域に信頼される学校を目指す。

生徒一人一人が、学園での学びを通して、自分に与えられている賜物(たまもの)や個性を発見し、進路を選び人生の意味を考え、将来にわたって教育目標が各自の生き方になることを、願っています。

普遍の価値を土台にして、大きく変化する現代社会に責任を持って関われる、躍動する学園であることを目指します。

2. 2018年度の歩み

- ① 2018年の最優先課題は、学校の魅力を高めて志願者を増加させ、入学定員を確保し、学校に力を付けることでした。この目標に向かって、教職員が共に気持ちを一つにして、知恵と力を出しあった1年でした。

- ② 中学校の生徒募集では、中学校10年の歩みをもとに、新しい中高一貫6年教育の像を描き、それを広報・募集イベントで発信しました。しっかり勉強させる中学、生徒が生き生きと活動し、表現する中学であることを前面に出しました。オープンスクールでは、生徒によって司会や発表が行われ、張り切って校舎内の案内をする姿が印象的でした。はじめて実施した授業のある土曜日の学校公開では、普段のままの授業の様子を自由に見ていただき、教室にも入っていただき、好評を博しました。
入試でも、グループ活動や面接を重視する改革を行い、意欲と能力のある生徒を迎えたい、という本校の姿勢を示せました。

- ③ 人口減少等で、私立高校の併願合格者が減少しているこの地域の高校入試においては、「この学校だから入学したい」という単願受検者を増やしていくことが、必須です。選ばれる高校になるための、本校の魅力を中学生と保護者にいかに伝えるかが、迫られた課題です。きめ細かな指導によって成果を上げている英数科の進学結果や、併設校推薦によるクリストファー大学への進学という特典、小さな単位での説明会の開催、就学支援金についてのわかりやすい説明の工夫、中学校訪問をこまめに行う等、有効な方策はなんでも実行しようという気構えで臨んだ1年間でした。
2019年4月から、スクールバスの佐鳴台・富塚ルートがスタートし、和田・笠井ルートが天竜川駅前始発となりました。これも教職員の意見交換の中から実現したことのひとつです。

3. SNS での情報発信の展開から、ICT 教育の推進：タブレットの導入まで

- ① そのような中で、若い教職員の発案、担当によって、SNS による情報発信が展開されました。従来の新聞のチラシ配布にかわり、インスタグラム・フェイスブック、ライン、YouTube による動画配信を始めました。部活や行事などの画像を、教員自らが撮ってアップする、受検生・保護者とラインでつながり情報交換をする、中・高の入試の直前には、全教員から受検生への激励の一言が配信されました。それらを介して、聖隷クリストファーを身近に感じていただきたいと、願っています。
- ② 中学 2、3 年生と、高校 1 年で、オンライン英会話の授業がスタートしました。今までもネイティブ教員によるイングリッシュシャワー（英会話）、体育と音楽のイメージング授業などが行われていましたが、生の英語に接する機会を増やすために、導入しました。生徒たちはパソコン教室で、各自イヤホンを耳に、それぞれの会話力と積極性に応じて、フィリピンの現地講師との会話を楽しんでいます。学校説明会でも、これを中学生に体験してもらうことができました。
- ③ 2019 年度 4 月となり、中学 1、2 年生と高校英数科 1、2 年生に、タブレット（iPad）が配布されました。いよいよタブレットを使っての教育が、本格的にスタートしました。2018 年度はこのための準備の 1 年でした。年度途中で設置された ICT 委員会を中心に、システムの選定、導入する学年、利用規則の制定等が検討されました。授業や家庭学習において、これが「文房具のように」使いこなされるまでには、関連機器の整備や教員側の研修、授業案の作成など、課題は山積みです。しかし案外生徒は抵抗なく取り入れ、なじんでいくことが、予想されます。便利さの促進だけでなく、探究学習などの「深い学び」を助けるツールとして成熟していくには、教員側の覚悟と積極性が必要と感じます。

4. 2018 年度の実績

① 大学入試結果

特筆すべきは、国公立大学合格 33 名（英数科現役 31 名、過年度生 2 名）、英数科生徒の 50% が国公立大学へ合格、という数字です。過去最高の前年度を 7 名上回りました。このうち、県内国公立大学の合格者が 14 名でした。この結果は非常に堅実な数字と思えます。合格校は有名な上位難関大学ばかりではありませんが、地元等の「行きたい大学」の合格者数が伸びている、と言えます。

要因として、早い時期（高 1）から、地方国公立大学に目を向けさせ、高 2 の後半からは、様々な選択肢・可能性を生徒と保護者に提示し、勉学への動機づけとした。進学先が決まるまで（卒業式の後でも制服で）登校させ、個別に指導をした。等々、教員集団が気構えをもって国公立大学への進学指導に取り組んだ成果と言えます。

一方、近年の問題として、難関私大、特に文系の難化があります。その中で難関私大（早慶上理 GMARCH 関関同立）の合格者も過去最高の 25 名に上りました。私大専願者には厳しい状況のなか、生徒達は健闘したと言えます。

② 部活動

本校には、多くの運動部・同好会があり（運動系 20、文化系 17）、多くの生徒が活発に活動しています。全国大会出場を照準に、遅くまで練習する部は、本校のシンボルであり代表です（強化部活：男子バレー、サッカー、野球）。一方で勉強の合間に体を動かそうという同好会も人気です。また、多彩な文化部は、個性豊かでコツコツと好きな道を追求したい生徒、

未知の文化芸術の世界に分け入りたい生徒たちにとっての、大切な場所となっています。

2018 年は、男子バレー部が 3 年ぶりに全国大会に出場となりました。(8 月の高校総体にて、予選グループ戦で勝ち、決勝トーナメント 2 回戦へ進出しましたが、沖縄代表・西原高校にセットカウント 1-2 で惜しくも敗退となりました)。また、放送部が NHK 杯全国高校放送コンテスト・ラジオドキュメント部門で優良賞(全国 8 位/435 作品中)を受賞しました。

5. 今後の展望

① 聖隷学園のグローバルスクール構想をうけて

学園が掲げている「世界を視野に入れた一貫したグローバル人材の育成」の構想の中で、中・高等学校がすべきことを明確にし、取り組んでいきます。

② 何と言っても、現在の校舎の目前で、小学校の校舎建築がはじまったことが、大きな構想を実感するきっかけになりました。1 年後に開設される小学校と隣接し、共に歩む形を、各責任単位が具体的に考えています。(時間や場所、様々なプログラム、スクールバスに至るまで、様々です。) それ以上に、「英語イマージョン教育と探究型の学び」を行う小学校が、12 年間のグローバルスクールを展開していくのに伴い、現行の中・高校の教育内容も変化していかなくてはなりません。

③もとより本校には、世界の中で生きる学園という自覚を持ち、多様な国際教育のプログラムを実施してきた財産があります。また、2021 年(中学校) 2022 年(高校)に実施される教育課程と、先立つ 2020 年スタートの大学共通テストの内容(キーワードは「主体的・対話的で深い学び」)は、グローバルスクール構想の内容と、軌を一にするものです。コミュニケーションスキルとしての英語教育の推進と教員配置の計画、グローバル委員会の統率による様ざまな分野での試み、英語圏・欧米圏に偏らない交流等、次の 1 年で一層推進していく所存です。

(5) 聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園（以下クリストファーこども園）は、2011年4月に静岡県西部で初めて開園した「幼保連携型認定こども園」です。園の基本理念である「キリスト教主義を基盤に心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」の下、「愛・思いやり・たくましさ・いのち・表現力・自立」を園の目標として、主体性や意欲、他者を思いやる心など豊かな人間性を育てていくとともに、異年齢や多様な人々との関りを通して、人と関わる力が育まれることを目指しています。

◆基本理念

「キリスト教主義を基盤に、心身ともに健やかなこどもの成長を育む園」

◆基本方針

- ① 聖隷学園の建学の精神である「自分のようにあなたの隣人を愛しなさい」という聖書に示される愛の心をもつことを願っています。創造主（神）から一人ひとりに与えられた尊い命が守られながら、生き活きと伸びていき、それぞれの内側にある力が十分に発揮されると同時に、周囲の人々と共に生きることに喜びや楽しみを感じ、人と関る力を身につけることを目指します。
- ② 発達や学びの連続性という視点から小学校への接続を意識し、就学前の教育・保育を一体的・総合的に展開します。幼保連携型認定こども園教育・保育要領の内容に沿って「生きる力」の基礎を身につけていくことを目標とします。
- ③ 保護者や地域住民のために子育て支援を充実させます。皆で子どもの成長を助け喜び合えるように、子どもに関するあらゆる分野の人々が協力し、子育て環境の向上に努めます。
- ④ 聖隷クリストファー大学附属の園として、大学の教員と協力し、保育の質の向上のために、また乳幼児を取り巻くさまざまな問題の解決のための実践的研究を行います。その成果を公開・発表し、幼児教育・保育業界のモデルとなる保育プログラム作りを目指します。

◆園目標

- | | |
|---------|---------------------------------------|
| <愛> | 神様と周りの人に愛されていることが分かり、自分を大切にしたい気持ちをもつ。 |
| <思いやり> | 様々な人々との関りを通して、思いやりの気持ちを育み共に生きる喜びを知る。 |
| <たくましさ> | 自然の中で思いきり遊び、感性やたくましい心と体を育む。 |
| <いのち> | 食に関わる体験を積み、いのちがつながりあい、支えられていることに感謝する。 |
| <表現力> | 自ら様々なことに取り組み、考えたり表現する力を身につける。 |
| <自立> | 生活に必要なことが分かり、自分から身に付けようとする。 |

◆保育の特色

- ① 自然の中での多様でダイナミックな体験を通して、生き活きとたくましく成長することを目指しています。
- ② 大学やその他の専門機関との連携により学問的根拠に裏づけられた、質の高い幼児教育・保育を実践し、子どもの健全な育ちを目指しています。
- ③ 皆で子どもの成長を助け喜びを共有するという意識に立って、子育て支援の充実、子育て環境の向上に努めています。

2 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

(1) 聖隷クリストファー大学、介護福祉専門学校

◆ 学生募集の推移

		入学定員	2019年度入学		2018年度入学		2017年度入学	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
大学院	看護学研究科	15	11	9	18	17	16	14
	博士前期課程	10	7	6	11	11	10	10
	博士後期課程	5	4	3	7	6	6	4
	社会福祉学研究科	13	4	4	7	6	8	7
	博士前期課程	10	2	2	4	3	3	3
	博士後期課程	3	2	2	3	3	5	4
	リハビリテーション科学研究科	15	14	13	13	13	15	13
	博士前期課程	10	12	11	10	10	13	11
	博士後期課程	5	2	2	3	3	2	2
	大学院合計	43	29	26	38	36	39	34
大学	看護学部	150	742	158	712	174	621	156
	看護学科	150	742	158	712	174	621	156
	助産学専攻科	15	31	17	29	17	32	17
	社会福祉学部	120	276	93	213	66	196	87
	社会福祉学科	40	121	44	104	36	90	34
	編入学	5	0	0	1	0	4	3
	介護福祉学科	25	48	16	33	6	26	11
	編入学	10	3	3	3	3	0	0
	こども教育福祉学科	40	104	30	72	21	76	39
	リハビリテーション学部	95	549	125	528	111	618	107
	理学療法学科	40	267	56	277	47	350	45
	作業療法学科	30	159	38	153	34	161	33
	言語聴覚学科	25	123	31	98	30	107	29
	大学合計	380	1,598	393	1,482	368	1,467	367
総合計	423	1,627	419	1,520	404	1,506	401	

		入学定員	2019年度入学		2018年度入学		2017年度入学	
			志願者	入学者	志願者	入学者	志願者	入学者
介護福祉専門学校		40	29	27	21	21	29	26

◆ 国家試験合格率の推移

看護師・保健師・助産師国家試験の合格率（新卒者）

資格名	所属	2018年度		2017年度		2016年度	
		全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
看護師	大学	94.7%	98.7%	96.3%	99.4%	96.5%	97.3%
保健師	大学	88.1%	86.7%	85.6%	88.7%	95.4%	100.0%
助産師	専攻科	99.9%	100.0%	99.4%	100.0%	93.2%	100.0%

社会福祉士・精神保健福祉士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2018年度		2017年度		2016年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
社会福祉士	53.7%	55.7%	54.6%	49.4%	46.3%	34.7%
精神保健福祉士	77.0%	100.0%	76.9%	76.5%	71.7%	69.2%

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2018年度		2017年度		2016年度	
	全国平均	本学	全国平均	本学	全国平均	本学
理学療法士	92.8%	100.0%	87.7%	100.0%	97.5%	100.0%
作業療法士	80.0%	88.9%	85.2%	85.7%	92.1%	100.0%
言語聴覚士	68.9%	61.3%	79.3%	94.4%	92.1%	90.9%

介護福祉士国家試験の合格率（新卒者）

資格名	2018年度			2017年度		
	全国平均	社会福祉学部介護福祉学科	介護福祉専門学校	全国平均	社会福祉学部介護福祉学科	介護福祉専門学校
介護福祉士	83.7%	91.7%	91.3%	88.0%	93.3%	94.7%

◆ 卒業生・修了生の進路状況（大学）

2018年度 卒業生・修了生の進路状況

看護学部卒業生の内訳

（単位：人）

卒業生数	155	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	153	看護師	135	115	20
		保健師	5	4	1
		養護教諭	1	1	0
		その他(*1)	1	1	0
進学者数	11				
その他(*2)	2				

(*1) 浜岡レジャーサービス株式会社 パロミノ・ポニークラブ勤務

(*2) 「その他」は就職しない者1名です。

聖隷三方原病院…22名、聖隷浜松病院…57名、聖隷横浜病院…8名

聖隷佐倉市民病院…2名、浜松市リハビリテーション病院…5名

袋井市立聖隷袋井市民病院…3名、聖隷沼津病院…1名、聖隷保健事業部…2名

合計100名（就職者の65.4%）

助産学専攻科修了生の内訳

修了生数	17	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	16	助産師	16	11	5

聖隷浜松病院…3名 合計3名（就職者の18.8%）

社会福祉学部社会福祉学科、介護福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	46 (社 34/介 12)	内訳		静岡県内	静岡県外
			社/介	社/介	社/介
就職者数	45 (社 34/介 11)	福祉施設(*1)	19/10	18/ 8	1/ 2
		医療機関	11/ 1	10/ 1	1/ 0
		公務員	3/ 0	3/ 0	0/ 0
		その他	1/ 0		
その他(*2)	1(社 0/介 1)				

(*1) 聖隷福祉事業団への就職者は、福祉施設4名、医療機関2名と計上しました。

(*2) 「その他」は就職を希望しない者1名です。

聖隷福祉事業団…6名（就職者の13.0%）

社会福祉学部こども教育福祉学科卒業生の内訳

卒業生数	39	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数 (*1)	38	公立幼稚園・保育園	1	1	0
		私立幼稚園	2	2	0
		こども園	8	8	0
		民間保育園	12	9	3
		社会福祉施設	10	10	0
		公務員	3	3	0
		一般企業	2	1	1
進学者数	11				

(*1) 聖隷福祉事業団(保育士)への就職者は、こども園5名、民間保育園1名と計上しました。

聖隷福祉事業団…6名、小羊学園…1名、十字の園…1名 合計8名（就職者の21.1%）

リハビリテーション学部卒業生の内訳

卒業生数	105	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	93	理学療法士	36	26	10
		作業療法士	34	23	11
		言語聴覚士	22	14	8
		その他	1	1	0
その他(*1)	12				

(*1)「その他」は就職活動中10名、就職しない者2名です。
 聖隷福祉事業団…18名（就職者の19.4%）

◆ 就職支援（大学）

2018年度 主な就職支援プログラム			
4月	春セメスター進路ガイダンス 【看】進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座 【看】保健師ガイダンス 【社・介・こ】施設説明会（4年次対象）	10月	公務員試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】就職先研究（聖隷福祉事業団）
5月	【看】進路ガイダンス 【PT・OT・ST】進路ガイダンス	11月	【看】看護師・保健師共通国試対策講座 【看】4年次生による就職活動報告会 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】就職先研究（天竜厚生会） 【社・介・こ】4年次生による就職活動報告会 【介】介護福祉士国家試験対策講座 【PT・OT】リハビリテーション国試対策講座
6月	公務員対策講座説明会	12月	【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】SPI対策模擬テスト 【社・介・こ】卒業生による福祉の仕事報告会 【介】介護福祉士国試対策講座 【こ】就職先研究（聖隷福祉事業団） 【こ】卒業生との懇談会 【こ】4年次生による就職活動報告会
7月	【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座	1月	【看】進路ガイダンス 【看】看護師国試対策講座 【看】保健師国試対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【社・介・こ】履歴書の書き方・面接の受け方講座 【社・介・こ】SPI対策模擬テスト 【社・介・こ】スーツ着こなし講座 【社・介・こ】メイクアップ講座 【介】介護福祉士国試対策講座 【PT・OT】4年次生による就職活動報告会 【PT・OT】就職先研究（聖隷福祉事業団）

8月	公務員試験対策講座 【看】看護師国試対策講座 【PT・OT・ST】進路ガイダンス 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（静岡県近隣県） 【PT・OT・ST】病院・施設説明会（聖隷関係） 【PT・OT・ST】メイクアップ講座 【PT・OT・ST】スーツ着こなし講座	2月	卒業時ガイダンス 【看】進路ガイダンス 【看】卒業生と在学生との懇談会 【PT・OT・ST】就職マナー・面接対策講座 スーツ着こなし講座・メイクアップ講座 【ST】就職先研究（聖隷福祉事業団）
2018年度 主な就職支援プログラム			
9月	秋セメスター進路ガイダンス 公務員試験対策講座 【看】保健師国家試験対策講座 【社・介・こ】社会福祉士国試対策講座 【介】介護福祉士国家試験対策講座	3月	論作文対策講座、筆記試験対策講座 【看】病院・施設説明会（聖隷関係） 【看】病院説明会（静岡県・愛知県東部） 【看】就職マナー・面接対策講座 スーツ着こなし講座・メイクアップ講座 【看】保健師国家試験対策講座 【社・介・こ】大規模法人就職説明会 【社・介・こ】施設説明会（3年次対象） 【ST】4年次生による就職活動・国試報告会

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

※【看】：看護学部対象 【助】：助産学専攻科対象

【社】：社会福祉学科対象 【介】：介護福祉学科対象 【こ】：こども教育福祉学科対象

【PT】：理学療法学科対象 【OT】：作業療法学科対象 【ST】：言語聴覚学科対象

◆ 卒業生の進路状況（専門学校）

2018年度 卒業生の進路状況

（単位：人）

卒業生数	23	内訳		静岡県内	静岡県外
就職者数	18	介護福祉士	18	17	1
進学者数	3				
その他(*1)	2				

(*1)「その他」は就職活動中1名、就職しない者1名です。

聖隷福祉事業団…11名（就職者の61.1%）

◆ 就職支援（専門学校）

2018年度 主な就職支援プログラム			
4月	進路ガイダンス	10月	
5月	社会人になるための基礎講座 就活マナー講座 スーツ着こなし講座 メイクアップ講座	11月	2年次生による就職活動報告会 卒業生と在学生との懇談会
6月		12月	履歴書の書き方・面接の受け方講座
7月		1月	就職内定後の心構え、社会人としての心構え講座
8月	進路ガイダンス	2月	卒業時ガイダンス
9月	進路ガイダンス	3月	進路ガイダンス 聖隷福祉事業団採用試験説明会

※随時：進路相談、履歴書添削、模擬面接

◆ 2018年度大学学部別・専門学校奨学金受給状況

○看護学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構				浜松市奨学金	K.M.奨学金	M.H.奨学金	難波千鳥奨学金	廣田育英会	合計	
				合計	一種	二種	給付						貸与人数	受給割合
1年次生	1		30	60	28	31	1	0	0			0	91	58.3%
2年次生	1	0	45	50	19	31	0	1	1			1	118	75.6%
3年次生	3	1	49	64	31	33	0	0	1	1	0	0	114	72.2%
4年次生	0	0	83	58	26	32	0	0	0	1	1	0	129	78.7%
合計	5	1	207	232	104	127	1	1	2	2	1	1	452	71.3%

○助産学専攻科

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	聖隷奨学会	日本学生支援機構				静岡県看護職特別	静岡県看護協会	合計	
			合計	一種	二種	給付			貸与人数	受給割合
1年次生	0	1	3	0	3	0	0	4	23.5%	

○社会福祉学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構				静岡県介護福祉士	静岡県保育士	K.M.奨学金	難波千鳥奨学金	廣田育英会	ニッセイ聖隷奨学金	合計	
				合計	一種	二種	給付							貸与人数	受給割合
1年次生	1		2	27	13	14	0	0	4			0	0	34	54.8%
2年次生	0	0	0	24	9	14	1	1	2	0		1	0	28	34.2%
3年次生	2	0	1	23	8	15	0	1	5	1	1	0	1	35	46.7%
4年次生	0	0	0	25	10	15	0	4	2	1	0	0	0	32	38.1%
合計	3	0	3	99	40	58	1	6	13	2	1	1	1	129	42.6%

○リハビリテーション学部

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	大学同窓会・後援会奨学金	聖隷奨学会	日本学生支援機構				浜松市奨学金	ニッセイ聖隷奨学金	合計	
				合計	一種	二種	給付			貸与人数	受給割合
1年次生	0		2	52	28	24	5	0	0	61	55.0%
2年次生	0	0	1	53	18	35	0	2	0	58	54.7%
3年次生	1	0	4	33	11	22	0	1	0	58	56.3%
4年次生	1	1	2	37	13	24	0	0	0	28	26.9%
合計	2	1	9	175	70	105	5	3	0	205	48.4%

○大学院博士前期課程

学年	日本学生支援機構			静岡県看護職員修学資金	合計	
	合計	一種	二種		貸与人数	受給割合
1年次生	1	0	1	4	5	21.7%
2年次生	2	1	1	4	6	27.3%
合計	3	1	2	8	11	24.4%

○大学院博士後期課程

学年	日本学生支援機構			合計	
	合計	一種	二種	貸与人数	受給割合
1年次生	0	0	0	0	-
2年次生	0	0	0	0	-
3年次生	0	0	0	0	-
合計	0	0	0	0	-

○介護福祉専門学校

学年	菅野・太田・長谷川奨学会	日本学生支援機構				静岡県介護福祉士修学資金	聖隷介護奨学金	クリストファー介護福祉士奨学金	天竜厚生会介護福祉士奨学金	合計	
		合計	一種	二種	給付					貸与人数	受給割合
1年次生	0	0	0	0	0	4	4	1	0	9	42.9%
2年次生	0	2	0	2	0	5	12	3	0	22	91.7%
合計	0	2	0	2	0	9	16	4	0	31	68.9%

※受給割合は、学生数に対する受給者の延べ人数の割合を示す

※受給割合は、2019年3月時点データ

※当年度・前年度ともに聖隷病院就職内定者の奨学金受給者を含む

◆グローバル教育推進

2018年度の本学の交流協定締結校は、サミュエルメリット大学（米国）、ナンヤン理工学院（シンガポール）、第三軍医大学（中国）、カトリックサンジ大学（韓国）、シンガポール工科大学、イーデス・コーワン大学（オーストラリア）の6校です。また、ハワイ大学マノア校（米国）、中山大學（中国）、チェンマイ大学（タイ王国）とも交流協定締結の協議を進めています。

2018年度は、学生主体の国際交流として下記の派遣・受入れプログラムを実施しました。2017年9月に大学間交流協定を締結したシンガポール工科大学とは、5月に学生の受入れプログラムを、8月に学生の派遣プログラムを初めて実施しました。また、2019年2月には、2018年1月に大学間交流協定を締結したオーストラリアのイーデス・コーワン大学にて初めて派遣プログラムが実施されました。

教員研修受入れについては、サミュエルメリット大学より看護教員2名、ナンヤン理工学院より看護教員1名を受入れました。また、2019年2月には、本学大学院主催の聖隷国際交流コンファレンスを開催し、100名近くの研究者や学生が集まりました。

【学生派遣】

プログラム	期間	対象	受入機関	参加学生	引率/巡回	
海外研修	海外研修 (シンガポール)	9日間	全学部 全学年	ナンヤン理工学院 (シンガポール)	看護2年6名 看護1年10名 社福2年1名 こども2年3名 計20名	教職員 2名
	海外研修 (オーストラリア)	9日間	全学部 全学年	イーデスコワン 大学 (オーストラリア)	看護1年6名 社福1年1名 PT2年1名 PT1年2名 計10名	教員1名
	海外研修(中国)	8日間	全学部 全学年	陸軍軍医大学 (中国)	看護2年2名 看護1年2名 社福1年2名 計6名	教員1名
国際専門研修	アメリカ看護 研修	11日間	看護学部 2・3年次生	サミュエルメリット大学 (米国)	看護2年9名 計9名	教員2名
	シンガポール リハビリテーシ ョン研修	10日間	リハビリテーション学部 理学療法学科生 作業療法学科生	シンガポール工科 大学	PT4年1名 PT2年2名 PT1年3名 OT2年5名 OT1年1名 計12名	教員2名
	アメリカ 言語聴覚学研修	11日間	リハビリテーション学部 言語聴覚学科生	ハワイ大学マノア校 (米国)	ST1年8名 計8名	教員1名

プログラム		期間	対象	受入機関	参加学生	引率/巡回
国際実習	国際看護実習	2週間	看護学部 4年次生	ナンヤン理工学院 (シンガポール)	看護4年2名 計2名	教員1名
	国際理学療法実習	2週間	リハビリテーション学部 理学療法学科生 3年次生	陸軍軍医大学、 中山大学 (中国)	PT3年2名 計2名	教員2名
	国際作業療法実習	2週間	リハビリテーション学部 作業療法学科生 2・3年次生	チェンマイ大学 (タイ王国)	OT3年3名 計3名	教員1名

【学生受入れ】

プログラム		期間	対象	研修・実習先	参加者
研修	Study Visit from Singapore Institute of Technology	7日間	シンガポール工科大学 理学療法学科生 作業療法学科生	聖隷三方原病院、浜松市リハビリテーション病院、浜松十字の園、聖隷厚生園、聖隷デイサービス三方原、浜松市根洗学園、ワークセンター大きな木	学生10名 教職員2名 計12名
	Study Visit from Samuel Merritt University (USA)	8日間	サミュエルメリット大学 看護学部生	聖隷三方原病院、訪問看護ステーション(住吉、住吉第2、高丘、細江)	学生10名 教員3名 計13名
	Study Visit from Texas A&M International University (USA)	4日間	テキサス A&M 国際大学 教育学部 コミュニケーション障害専攻生	聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園	学生11名 教員2名 計13名
	Study Visit from Chiang Mai University (Thailand)	5日間	チェンマイ大学 医療科学研究科 作業療法学生 (修士課程)	浜松市リハビリテーション病院、浜松十字の園、JA 静岡厚生連遠州病院、ワークセンター大きな木、ワークセンターふたば、多機能型事務所むく	学生7名 教員1名 計8名
	Study Visit from Nanyang Polytechnic (Singapore)	4日間	ナンヤン理工学院 ヘルス&ソーシャルサイエンス学部 看護学科生	聖隷三方原病院、浜松市リハビリテーション病院、浜松ゆうゆうの里	学生12名 教員1名 計13名
	Study Visit from Army Medical University (China)	5日間	陸軍軍医大学 看護学部生	聖隷三方原病院、浜松市リハビリテーション病院、浜松ゆうゆうの里	学生1名 教員2名 計3名
実習	Overseas Nursing Clinical Attachment Program from Nanyang Polytechnic (Singapore)	4週間	ナンヤン理工学院 ヘルス&ソーシャルサイエンス学部 看護学科生	聖隷三方原病院、聖隷浜松病院、浜名湖エデンの園、訪問看護ステーション貴布祢	実習生2名

【教員研修受入れ】

■アメリカ・サミュエルメリット大学

期 間：6月20日、21日 2日間

内 容：浜松市消防局（浜松市北消防署）、聖隷三方原病院

研修者：看護学部 内科・外科看護教員1名、精神看護教員1名

■シンガポール・ナンヤン理工学院

期 間：2019年2月27日～3月4日 4日間

内 容：訪問看護ステーション細江、掛川市・袋井市・森町、大学内講義

研修者：ヘルス&ソーシャルサイエンス学部 公衆衛生看護教員1名

(2) 聖隷クリストファー高等学校

1. 生徒募集の推移

(単位：人)

	入学定員	2019年度入学者 (2018年度募集)		2018年度入学者 (2017年度募集)		2017年度入学者 (2016年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
普通科・英数科	294	1,071	285	1,140	263	1,067	253

※中学校からの内進生を含みます。

2. 卒業生の進路状況

(単位：人)

	大学	短期 大学	専門 学校	受験 準備	就職	留学	未定	合計
男子	106	0	14	5	12	0	0	137
女子	94	9	47	2	12	0	4	168
合計	200	9	61	7	24	0	4	305
比率	65.6%	3.0%	20.0%	2.3%	7.9%	0.0%	1.3%	100.0%

※大学（男子）には海外大学進学者1名を含みます。

3. 大学合格実績

《国公立大学 31名》

神戸大1名、首都大東京2名、愛知教育大1名、東京学芸大1名、静岡大3名、浜松医大(看護)2名、静岡県立大(国関1、経情2、看護3)6名、静岡文化芸術大2名、信州大1名、山梨大1名、富山大1名、高知大2名、長崎大1名、北見工業大2名、茨城県立医療大1名、山梨県立大2名、長野県立大1名、富山県立大1名

(上記の他、過年度生2名：静岡大1名、信州大1名)

《私立大学 349名》

聖隷クリストファー大学62名、国際基督教大1名、早稲田大1名、東京理科大1名、学習院大1名、明治大1名、立教大1名、中央大1名、法政大4名、関西大2名、関西学院大4名、立命館6名、南山大2名、明治学院大3名、津田塾大2名、同志社女子大3名、芝浦工業大2名、獨協大4名、日本大4名、東洋大1名、駒澤大1名、東海大7名、亜細亜大1名、帝京大4名、國學院大1名、国士舘大1名、京都産業大2名、近畿大9名、龍谷大2名、中京大2名、名城大7名、愛知大3名、愛知学院大11名 他

4. 就職実績

《就職内定者 24 名》

警視庁 1 名、静岡県警察 1 名、航空自衛隊 3 名、スズキ 3 名、朝日電装 1 名、ホンダプリモア
クール浜松 1 名、トクラスプロダクツ 1 名 他

5. 国際交流

派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校語学研修プログラム (3 か月)	アメリカへ 2 名 オーストラリアへ 1 名	
本校から私費留学	カナダへ 1 名	アメリカへ 1 名 2018 年 9 月～現在継続中
県教委主催海外体験促進事業 (語学研修)	なし	
受入れ留学生	2018 年 10 月～2018 年 11 月 オーストラリアから 1 名 2018 年 11 月～2018 年 12 月 オーストラリアから 1 名	2017 年 8 月～2018 年 6 月 フランスから 1 名 2018 年 8 月～現在 デンマークから 1 名 2018 年 8 月～現在 タイから 1 名

6. 部活動の主な実績

高校・中学	
部活動名	2018 年度 主な実績
男子 バレーボール部	静岡県高等学校総合体育大会バレーボール競技 西部地区大会 ベスト 4 静岡県高等学校総合体育大会バレーボール競技 県大会 優勝 第 65 回東海高等学校総合体育大会バレーボール競技 ベスト 4 全国高等学校総合体育大会 全国大会 決勝トーナメント出場 静岡県西部高等学校バレーボール選手権大会 優勝 第 71 回全日本バレーボール高等学校選手権大会 静岡県予選大会ベスト 8 静岡県高等学校新人体育大会バレーボール競技西部地区大会 優勝 静岡県高等学校新人体育大会バレーボール競技県大会 準優勝 東海高等学校バレーボール選抜大会 A グループ決勝トーナメント準優勝
男子 サッカー部	静岡県高等学校総合体育大会サッカー競技 西部地区大会 ベスト 4 静岡県高等学校総合体育大会サッカー競技 県大会ベスト 16 第 97 回高校選手権静岡県大会 3 回戦進出 静岡県高校サッカー新人大会 西部地区大会 3 位 静岡県高校サッカー新人大会 県大会出場
野 球 部	第 65 回春季東海地区高等学校野球静岡県西部地区大会 3 位 第 65 回春季東海地区高等学校野球静岡県大会 2 回戦進出 第 100 回全国高校野球選手権静岡大会 出場 第 71 回秋季東海地区高等学校野球西部地区大会 4 回戦進出 第 71 回秋季東海地区高等学校野球静岡県大会 出場 第 66 回春季東海地区高等学校野球静岡県西部地区大会 出場

部活動名	2018年度 主な実績
女子 ソフトボール部	静岡県高等学校総合体育大会 西部地区大会 ベスト4 静岡県高等学校総合体育大会 県大会 2回戦進出 静岡県高等学校女子ソフトボール選手権大会 2回戦進出 静岡県高等学校女子ソフトボール新人大会西部地区予選 ベスト4 静岡県高等学校女子ソフトボール新人大会 県大会 2回戦進出
少林寺拳法部	第66回静岡県高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技 男子単独演武 2位 男子組演武 1位・2位 男子団体演武 1位 女子組演武 1位・2位 女子団体演武 1位 平成30年度全国高等学校総合体育大会 少林寺拳法競技大会 (団体演武)男子10位 (団体演武)女子10位 2018年少林寺拳法 全国大会 in ぐんま 中学生男子の部 敢闘賞(4位)入賞 第12回全国中学生 少林寺拳法大会 男子組演武 5位入賞 女子単独演武 5位入賞 平成30年度静岡県高等学校新人体育大会 少林寺拳法競技 男子自由単独演武 2位 男子自由組演武 1位 男子団体演武 1位 女子自由単独演武 2位 女子自由組演武 1位 第22回全国高等学校 少林寺拳法選抜大会 男子自由単独演武6位入賞 男子団体演武6位入賞
吹奏楽部	第59回静岡県吹奏楽コンクール西部地区大会(A編成) 金賞 第61回中部日本吹奏楽コンクール静岡県大会 高等学校小編成の部 金賞 第24回日本管楽合奏コンテスト 予選審査会 高等学校A部門 優秀賞 第52回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト西部地区大会 フルート3重奏 銀賞 ホルン4重奏 銀賞 トランペット3重奏 銅賞 第20回中部日本個人重奏コンテスト静岡県大会 木管3重奏 銀賞 バリチューバ5重奏 銅賞 フルード独奏 銀賞 クラリネット独奏 銅賞 引佐フェスティバル(みおつくしホール) 6校合同スプリングコンサート(本校クリスティーナホール)
放送部	第65回NHK杯高校放送コンテスト県大会 ドキュメント部門 3位 第48回高等学校ラジオ作品コンクール 優秀賞 第3回聖書動画コンテスト2018 フレッシュ作品賞
かるた	第77回全国競技かるた桑名大会 個人戦 D級4位 第7回奥の細道むすびの地全国競技かるた大垣大会 個人戦 E級優勝 D級3位

部活動名	2018年度 主な実績
書道	第17回岐阜女子大学全国書道展 特賞1名 日本書道専門学校主催第40回千字文大会 高校漢字半紙の部 特選1名 中学半紙の部 特選1名 第36回富士山学生書写書道展 審査委員長賞 1名 第59回大東文化大学全国書道展 高校条幅の部 特賞1名 中学半紙の部 特賞1名 日本書写教育研究会 第62回全国書き初め作品展覧会 高校個人 審査委員長賞 中学個人 全日本芸術振興会賞 第36回ふれあい書道展 特選 1名

(3) 聖隷クリストファー中学校

1. 生徒募集の推移

	入学定員	2019年度入学者 (2018年度募集)		2018年度入学者 (2017年度募集)		2017年度入学者 (2016年度募集)	
		志願者数	入学者数	志願者数	入学者数	志願者数	入学者数
中学校	70	74	53	60	47	73	45

2. 国際交流

派遣 / 受入	短期プログラム	長期プログラム
本校から私費留学	なし	なし
受入れ留学生	2018年6月～2018年7月 アメリカから1名	なし

(4) 聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

◆ 年間行事

日付	内容
4月 2日(月)	保育開始
7日(土)	入園式(55名入園)
9日(月)	1学期始園日
17日(火)	ホンダ訪問サッカースクール(5歳児)
18日(水)	理事長講話、イースター礼拝・誕生会
21日(土)	こども園保護者会総会、クラス懇談会
24日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
25日(水)	
26日(木)	視力検査(5歳児)
27日(金)	
5月 8日(火)	健康診断
9日(水)	母の日礼拝・誕生会
10日(木)	視力検査(4歳児)
11日(金)	
15日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
16日(水)	
17日(木)	尿検査
24日(木)	園外保育(4歳児) フラワーパーク
25日(金)	
26日(土)	入園説明会(次年度入園希望3歳児対象)
31日(木)	園外保育 ジョン・カミツカ氏 コンサート(5歳児)
6月 5日(火)	オープン保育デー(5歳児)
6日(水)	
7日(木)	
8日(金)	歯科検診
13日(水)	花の日礼拝・誕生会
14日(木)	花の日施設訪問
19日(火)	プール開き、園外保育(5歳児) 親子里山体験
20日(水)	園外保育(5歳児) 親子里山体験
21日(木)	オープン保育デー(4歳児)
22日(金)	
26日(火)	オープン保育デー(3歳児)
27日(水)	
28日(木)	
7月 4日(水)	月礼拝・誕生会
7日(土)	サマーフェスタ
10日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
11日(水)	
13日(金)	1学期終園日
20日(金)	5歳児お泊り保育(かわな野外活動センター)
21日(土)	
8月 1日(水)	小学1年生 同窓会
9月 3日(月)	2学期始園日、防災引渡訓練
7日(金)	プール納め
12日(水)	月礼拝・誕生会
19日(水)	聖隷クリストファー中・高等学校体育大会へ参加(5歳児)
25日(火)	健康診断
27日(木)	はごろも『夢』講演会「お相撲さんと一緒に遊ぼう」
10月 6日(土)	プレイデー(運動会、3・4・5歳児) 於:中高ソフトボール場
10日(水)	園外保育(5歳児) 親子里山体験

日付	内容
10月 12日(金)	園外保育(5歳児) 親子里山体験
15日(月)	食育講座「魚さばき」(5歳児)
17日(水)	月礼拝・誕生会
22日(月)	歯磨き指導教室(5歳児)
23日(火)	園外保育(3-5歳児) 浜松市動物園
27日(土)	プレイデー(運動会、0.1.2歳児) 於:園庭
29日(月)	プレイデー(運動会、満3歳児) 於:園庭
30日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
31日(水)	
11月 7日(水)	収穫感謝礼拝・誕生会
8日(木)	収穫感謝訪問(浜名湖エデン園、アドナイ館他訪問) アジア学院との交流(5歳児)
9日(金)	野外パーティー
10日(土)	幼児祝福式(3.5歳児希望者) 於:遠州栄光教会
17日(土)	入園・進級オリエンテーション(次年度3歳入園・進級者対象)
12月 3日(月)	保護者会クリスマス
8日(土)	クリスマスのつどい(0・1・2・3歳児)
12日(水)	学園クリスマスツリー点火祭(5歳児)
15日(土)	クリスマスのつどい(4・5歳児)
19日(水)	2学期終園日
21日(金)	大掃除
1月 9日(水)	3学期始園日
10日(木)	体力測定(5歳児)[主催:大学看護・社会福祉学部]
11日(金)	人形劇(むすび座)[保護者会主催]
15日(火)	園外保育(5歳児) 親子里山体験
16日(水)	月礼拝・誕生会
18日(金)	園外保育(5歳児) 親子里山体験 クリストファー中学校3年生との交流会(家庭科おもちゃ制作)
29日(火)	オープン保育デー(3歳児)
30日(水)	
31日(木)	
2月 1日(金)	節分パーティー
5日(火)	オープン保育デー(4歳児)
6日(水)	
9日(土)	親子運動遊び(きのいい羊)[保護者会主催]
14日(木)	オープン保育デー(5歳児)
19日(火)	交通安全教室(4.5歳児)
20日(水)	月礼拝・誕生会
26日(土)	どうぶつしょうぎ[保護者会主催]
22日(金)	気賀小学校1年生との交流会(5歳児)
23日(土)	クラス懇談会、保護者会役員会
26日(火)	園外保育(5歳児) 里山体験
27日(水)	
3月 1日(金)	ひなまつりパーティー
6日(水)	月礼拝・誕生会
8日(金)	卒園遠足(5歳児) 豊橋市:のんほいパーク
12日(火)	年長お別れ会、お別れパーティー
13日(水)	園外保育(4歳児) 里山体験
14日(木)	卒園礼拝、園外保育(4歳児) 里山体験
15日(金)	3学期終園日
16日(土)	卒園式(62名卒園)

3 施設等の状況（2019年3月31日現在）

（1）現有施設の状況

土地

所在地	面積等	取得価額	摘要
静岡県浜松市北区三方原町 3453	501 m ²	32,585 千円	小学校校舎建設予定地
	41,813 m ²	434,456 千円	聖隷クリストファー大学キャンパス
	70,269 m ²	2,137,418 千円	聖隷クリストファー中高キャンパス
静岡県浜松市北区三方原町 2762	4,290 m ²	70,945 千円	クリストファーこども園（園舎・園庭）
合計	116,873 m ²	2,675,405 千円	

校舎等

所在地	施設等(建物名称)	面積等	取得価額	帳簿価額
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリストファー大学(1号館)	9,068 m ²	2,331,159 千円	979,170 千円
	〃 (2号館)	4,026 m ²	706,855 千円	387,775 千円
	〃 (3号館)	4,727 m ²	888,017 千円	493,010 千円
	〃 (4号館)	1,199 m ²	194,260 千円	59,503 千円
	〃 (旧5号館旧棟)	2,623 m ²	305,909 千円	80,723 千円
	〃 (5号館)	5,134 m ²	948,666 千円	790,499 千円
	〃 (機械室)	11 m ²	1,124 千円	383 千円
	〃 (学生・同窓会館)	964 m ²	155,433 千円	51,979 千円
	〃 (キリスト教センター)	78 m ²	19,749 千円	8,152 千円
	〃 (第一体育館)	781 m ²	237,883 千円	120,896 千円
	〃 (第二体育館)	495 m ²	46,702 千円	18,036 千円
	〃 (第一テニスクラブハウス)	35 m ²	10,754 千円	1,525 千円
聖隷クリストファー大学 合計		29,141 m ²	5,846,510 千円	2,991,650 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	専門学校棟	574 m ²	160,760 千円	109,978 千円
聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校 合計		574 m ²	160,760 千円	109,978 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 3453	聖隷クリストファー中・高等学校(校舎)	9,332 m ²	1,618,175 千円	999,598 千円
	〃 (体育館)	4,369 m ²	764,276 千円	470,073 千円
	〃 (総合運動場クラブハウス)	176 m ²	34,011 千円	17,226 千円
	〃 (第二テニスクラブハウス)	106 m ²	17,379 千円	10,255 千円
	〃 (サッカー場クラブハウス)	193 m ²	36,003 千円	13,699 千円
	〃 (野球部部室)	62 m ²	20,855 千円	10,173 千円
	〃 (ガス整圧室、ホップ室)	15 m ²	29,800 千円	10,309 千円
〃 (ソフトボール場倉庫)	65 m ²	1,614 千円	567 千円	
聖隷クリストファー中・高等学校 合計		14,318 m ²	2,522,112 千円	1,531,900 千円
静岡県浜松市北区 三方原町 2762	クリストファーこども園園舎	2,139 m ²	502,115 千円	385,463 千円
聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園 合計		2,139 m ²	502,115 千円	385,463 千円
総合計		45,597 m ²	9,031,497 千円	5,018,992 千円

（2）主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況

小学校校舎建設工事を開始いたしました。完成は2019年12月予定です。

4 その他

特に記載すべき事項はありません。

3 財務の概要

1 決算の概要

(1) 貸借対照表の状況

貸借対照表は資産（土地や建物など）が何によってどのようなバランスで賄われているかを表し、財務の健全性を示したものです。

校舎建設、土地購入などによる借入金のための負債の割合が高いですが、総資産の70.6%は自己資金で賄われていることにより、財務の安定性は十分な余力があることがわかります。

また、借入金は現状のキャッシュフローにおいて最長約3年での全額返済が可能であり、十分な返済能力を備えていると認識しております。

		(単位:百万円)		
資産の部合計	14,466	負債の部合計	4,258	
(主な内容)		(主な内容)		
	(現金預金	5,257)	(借入金	1,955)
	(土地	2,675)	(前受金	1,555)
	(建物	5,019)		
		自己資金	10,208	

		【有利子負債返済可能年数】	
借入金	1,955 百万円	=	3.00 年
学校運営にかかる キャッシュフロー	647 百万円		

(2) 収支計算書の状況

資金収支計算書、活動区分資金収支計算書

「資金収支計算書」は学校法人の資金の出入りを表す財務諸表で、一般企業のキャッシュフロー計算書に類するものです。2015年度から学校法人会計基準の改正に伴い、新たに活動区分ごとの資金の流れがわかる「活動区分資金収支計算書」の作成が義務付けられました。

下記は活動区分ごとの示した表となっております。

2018年度は教育研究活動により発生した資金は6億4675万円でした。施設・設備投資には小学校校舎建設費を含め1億4200万円を充当しました。

これら法人全体の事業活動により、前年度より資金が約3億円増加しました。現状、経営実績は安定して推移しているといえます。

(単位:百万円)	
I 教育研究活動による資金収支	647
II 施設等整備活動による資金収支	△153
III その他の活動による資金収支	△165
支払資金増加額(I+II+III)	329
前年度繰越支払資金	4,928
翌年度繰越支払資金	5,257

①活動区分資金収支計算書

(単位:円)

		科 目	金額	
教育活動による資金収支	収入	学生生徒等納付金収入	2,622,592,165	
		手数料収入	58,904,096	
		特別寄付金収入	50,345,299	
		一般寄付金収入	3,340,220	
		經常費等補助金収入	797,235,080	
		付随事業収入	15,441,050	
		雑収入	137,017,959	
		教育活動資金収入計	3,684,875,869	
	支出	人件費支出	2,345,026,164	
		教育研究経費支出	491,602,015	
		管理経費支出	257,187,658	
		教育活動資金支出計	3,093,815,837	
		差引	591,060,032	
		調整勘定等	55,687,884	
	教育活動資金収支差額	646,747,916	I	
施設整備等活動による資金収支	科 目		金額	
	収入	施設設備寄付金収入	216,328	
		施設設備売却収入	249,160	
		施設整備等活動資金収入計	465,488	
	支出	施設関係支出	68,443,992	
		設備関係支出	73,570,887	
		施設整備等活動資金支出計	142,014,879	
		差引	△ 141,549,391	
		調整勘定等	△ 11,101,427	
	施設整備等活動資金収支差額	△ 152,650,818	II	
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)			494,097,098	

(単位:円)

		科 目	金額
その他の活動による資金収支	収入	預り金受入収入	5,324,209
		預託金回収収入	11,410
		奨学貸付金回収収入	16,836,000
		小計	22,171,619
		受取利息・配当金収入	1,799,062
		その他の活動資金収入計	23,970,681
	支出	借入金等返済支出	151,660,000
		みなし退職引当特定資産繰入支出	250,000
		立替金支出	373,135
		預託金支出	89,660
		奨学貸付金支払支出	9,298,000
		小計	161,670,795
		借入金等利息支出	29,949,033
		その他の活動資金支出計	191,619,828
	差引	△ 167,649,147	
	調整勘定等	2,285,748	
	その他の活動資金収支差額	△ 165,363,399	
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)		328,733,699	
前年度繰越支払資金		4,928,382,174	
翌年度繰越支払資金		5,257,115,873	

III

②事業活動収支計算書

事業活動収支計算書は学校運営の収入と支出の内容を表したもので、一般企業の損益計算書に類するものです。

事業活動収支差額は2億5,268万円のプラスとなりました。この収支差額は2018年度第一次補正額よりも1億9900万円改善しています。

(単位:千円)

科目	法人	大学	高校	中学	こども園	専門	合計	
事業活動収入	学生生徒等納付金	0	2,110,534	356,362	65,759	51,302	38,910	2,622,867
	手数料(入学検定料含む)	0	41,617	15,474	1,140	0	672	58,904
	寄付金	0	17,862	31,358	5,362	0	0	54,582
	補助金	0	248,951	316,165	51,949	178,054	2,117	797,235
	付随事業・雑収入等	900	104,921	9,271	1,202	16,216	19,950	152,459
	教育活動外収入(受取利息等)	0	1,232	358	61	117	30	1,799
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)	0	11,425	1,427	0	58	0	12,909
	合計	900	2,536,543	730,414	125,473	245,747	61,678	3,700,755
事業活動支出	人件費	70,660	1,550,355	417,482	93,037	159,730	56,605	2,347,868
	教育研究経費	0	502,399	168,150	21,360	51,113	16,047	759,069
	(うち減価償却額)	0	162,345	70,715	4,731	23,376	5,702	266,869
	管理経費	60,788	125,745	73,450	15,108	7,383	4,657	287,131
	(うち減価償却額)	11,313	4,765	516	94	651	48	17,386
	徴収不能額等	0	275	0	0	0	0	275
	教育活動外支出(借入金利息等)	0	8,789	21,160	0	0	0	29,949
	特別支出(資産処分差額等)	1,370	19,741	2,629	47	0	0	23,787
合計	132,818	2,207,304	682,871	129,552	218,226	77,308	3,448,079	
経常収支差額	△ 130,548	337,555	48,746	△ 4,032	27,464	△ 15,630	263,554	
事業活動収支差額	△ 131,918	329,239	47,543	△ 4,079	27,521	△ 15,630	252,676	

2 経年比較

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	2014年度末	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末
固定資産	9,527,116	9,417,957	9,408,802	9,214,009	9,062,505
流動資産	4,216,659	4,432,591	4,712,562	5,021,384	5,403,749
資産の部合計	13,743,776	13,850,549	14,121,365	14,235,394	14,466,254
固定負債	2,645,394	2,528,692	2,524,867	2,400,461	2,268,417
流動負債	1,967,774	1,949,559	1,931,381	1,879,035	1,989,263
負債の部合計	4,613,169	4,478,252	4,456,249	4,279,496	4,257,680
基本金	12,899,888	13,205,058	13,567,384	13,829,920	14,097,544
繰越収支差額	△ 3,769,281	△ 3,832,761	△ 3,902,268	△ 3,874,022	△ 3,888,970
純資産の部合計	9,130,607	9,372,297	9,665,116	9,955,898	10,208,574
負債及び純資産の部合計	13,743,776	13,850,549	14,121,365	14,235,394	14,466,254

(2) 収支計算書

① 資金収支計算書

(単位: 千円)

収入の部	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
学生生徒等納付金収入	2,625,497	2,602,778	2,628,743	2,626,446	2,622,592
手数料収入	56,088	57,250	57,895	58,454	58,904
寄付金収入	63,188	49,814	52,527	65,655	53,901
補助金収入	741,375	737,951	814,366	823,391	797,235
資産売却収入	400	540	0	300	249
付随事業・収益事業収入	1,587	18,597	11,367	12,137	15,441
受取利息・配当金収入	1,819	1,633	1,355	1,394	1,799
雑収入	147,534	139,129	66,208	94,593	137,017
借入金等収入	0	0	170,000	0	0
前受金収入	1,514,396	1,513,973	1,541,909	1,516,781	1,554,589
その他の収入	112,307	150,638	91,896	69,048	84,557
資金収入調整勘定	△ 1,675,172	△ 1,593,851	△ 1,571,491	△ 1,604,298	△ 1,632,786
前年度繰越支払資金	3,621,059	4,048,149	4,329,499	4,625,701	4,928,382
収入の部合計	7,210,083	7,726,605	8,194,277	8,289,605	8,621,883

支出の部	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
人件費支出	2,234,222	2,260,817	2,230,470	2,266,937	2,345,026
教育研究経費支出	455,549	478,404	485,915	503,686	491,602
管理経費支出	228,736	238,581	245,799	234,374	257,187
借入金等利息支出	34,893	32,540	34,414	32,329	29,949
借入金等返済支出	116,150	144,860	154,340	154,860	151,660
施設関係支出	60,299	152,896	251,823	45,996	68,443
設備関係支出	59,649	71,846	75,800	57,002	73,570
資産運用支出	0	0	0	18,375	250
その他の支出	188,560	225,535	212,531	155,629	130,132
資金支出調整勘定	△ 216,124	△ 208,375	△ 122,519	△ 107,967	△ 183,054
次年度繰越支払資金	4,048,149	4,329,499	4,625,701	4,928,382	5,257,115
支出の部合計	7,210,083	7,726,605	8,194,277	8,289,605	8,621,883

※2014年度以前については、新会計基準に基づき組み替えて表記しています

② 事業活動収支計算書

(単位:千円)

科目		年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
事業活動収入	学生生徒等納付金		2,625,497	2,602,778	2,629,443	2,626,576	2,622,867
	手数料		56,089	57,250	57,896	58,454	58,904
	寄付金		69,135	48,907	52,311	65,440	54,582
	経常費等補助金		741,375	737,952	811,503	823,102	797,235
	付随事業収入		1,587	18,598	11,367	12,137	15,441
	雑収入		147,535	139,136	66,209	93,783	137,018
	教育活動外収入(受取利息等)		1,820	1,633	1,355	1,394	1,799
	特別収入(施設設備、現物寄付金等)		400	10,123	12,043	9,677	12,909
合計			3,643,438	3,616,376	3,642,127	3,690,563	3,700,755
科目		年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
事業活動支出	人件費		2,262,894	2,264,545	2,218,779	2,284,761	2,347,868
	教育研究経費		746,666	781,828	795,156	796,336	759,069
	管理経費		270,670	266,724	273,810	263,573	287,131
	徴収不能額等		0	0	788	129	275
	教育活動外支出(借入金利息等)		34,894	32,540	34,414	32,330	29,949
	特別支出(資産処分差額等)		0	29,050	26,361	22,652	23,787
合計			3,315,124	3,374,687	3,349,307	3,399,781	3,448,079
基本金組入前当年度収支差額			328,314	241,690	292,819	290,782	252,676
基本金組入額合計			△ 234,379	△ 305,170	△ 363,100	△ 264,755	△ 267,624
当年度収支差額			93,936	△ 63,480	△ 70,281	26,027	△ 14,947
前年度繰越収支差額			△ 3,863,217	△ 3,769,281	△ 3,832,761	△ 3,902,269	△ 3,902,269
基本金取崩額			0	0	774	2,219	0
翌年度繰越収支差額			△ 3,769,281	△ 3,832,761	△ 3,902,269	△ 3,874,023	△ 3,888,970
経常収支差額			327,914	260,616	307,138	303,756	263,554
事業活動収支差額			328,314	241,690	292,819	290,782	252,676

※2014年度以前については、新会計基準に基づき組み替えて表記しています

3 主な財務比率比較

<学校法人全体の主要財務指標の内容>

ここでは主に下記の指標を用いて2018年度決算における経営状況および改善傾向を把握することができます。2015年度からは学校法人会計基準改正に伴い、財務比率も変更となっています。

① 收容定員充足率 = 学生現員 ÷ 收容定員

定員に対する学生数の割合を示したものです。100%であることが理想です。

② 経常収支差額比率 = 経常収支差額 ÷ 経常収入

※2014年度以前は「帰属収支差額比率」からの組み替えて表示してあります。

③ 流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債

短期的な資金繰りの余裕度合を表したもので、150～200%が理想的です。

④ 運用資産余裕比率 = (運用資産*1 - 外部負債*2) ÷ 経常支出 …法人全体のみ

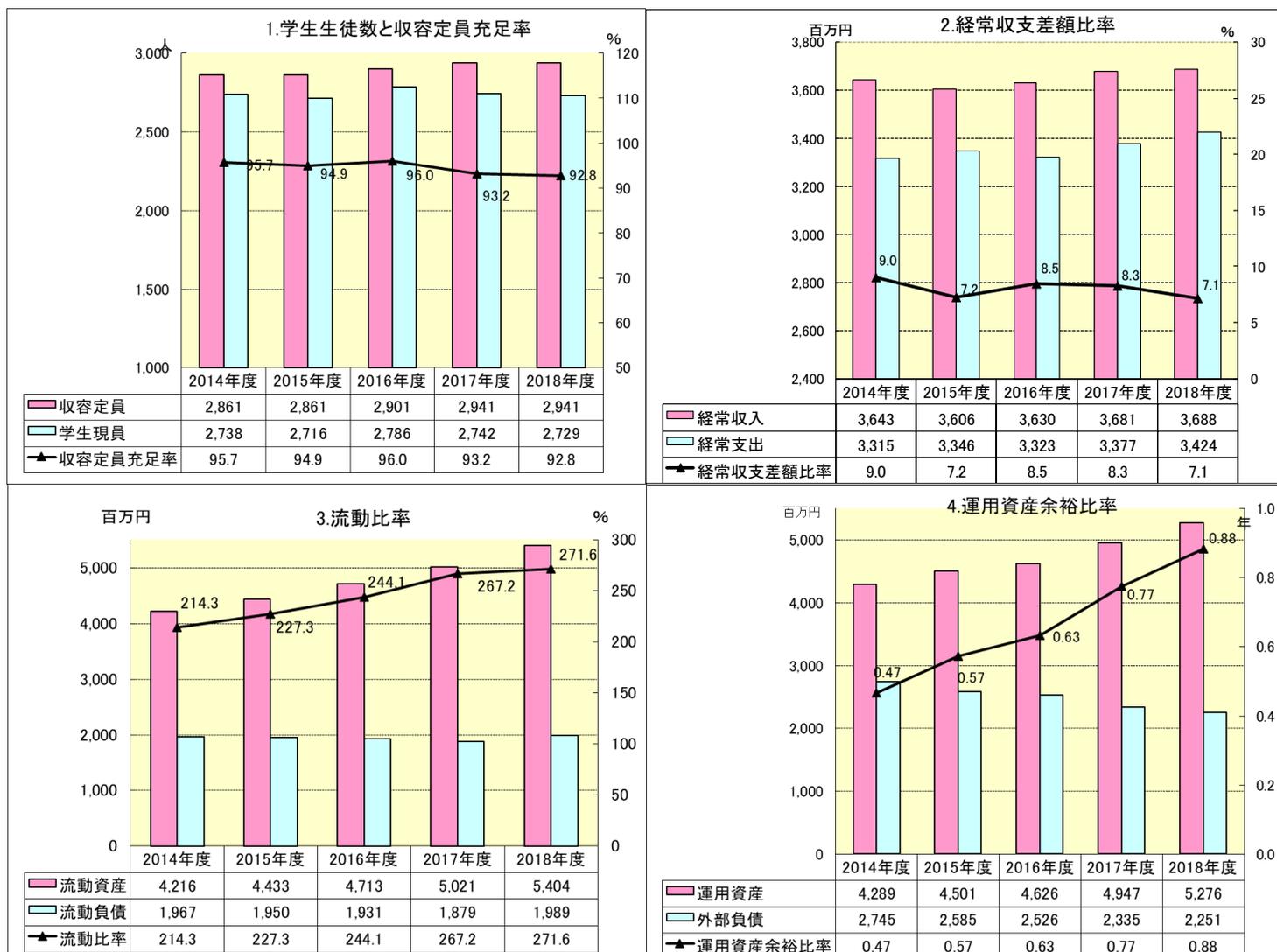
*1 運用資産 = 現預金 + 特定預金 *2 外部負債 = 総負債 - 退職給与引当金 - 前受金

実質的な運用資産を年間の支出に対してどれだけ保有しているかを示すものです。

法人全体

2018年度は学生・生徒・園児数が13名減少し、收容定員充足率は92.8%となりました。経常収支差額比率7.1%、流動比率は271.6%、運用資産余裕比率は0.88年となっております。

2018年度決算(法人全体)



◆ 各学校の主要財務指標の内容

学校別の財務内容については下記指標を用いて算出しました。

① 収容定員充足率 = 学生(生徒・園児)現員 ÷ 収容定員

② 人件費比率 = 人件費 ÷ 経常収入
 経常収入に対する教職員の人件費の割合を表したものです。

※2014年度以前は「人件費÷帰属収入」で算出した比率となっています。

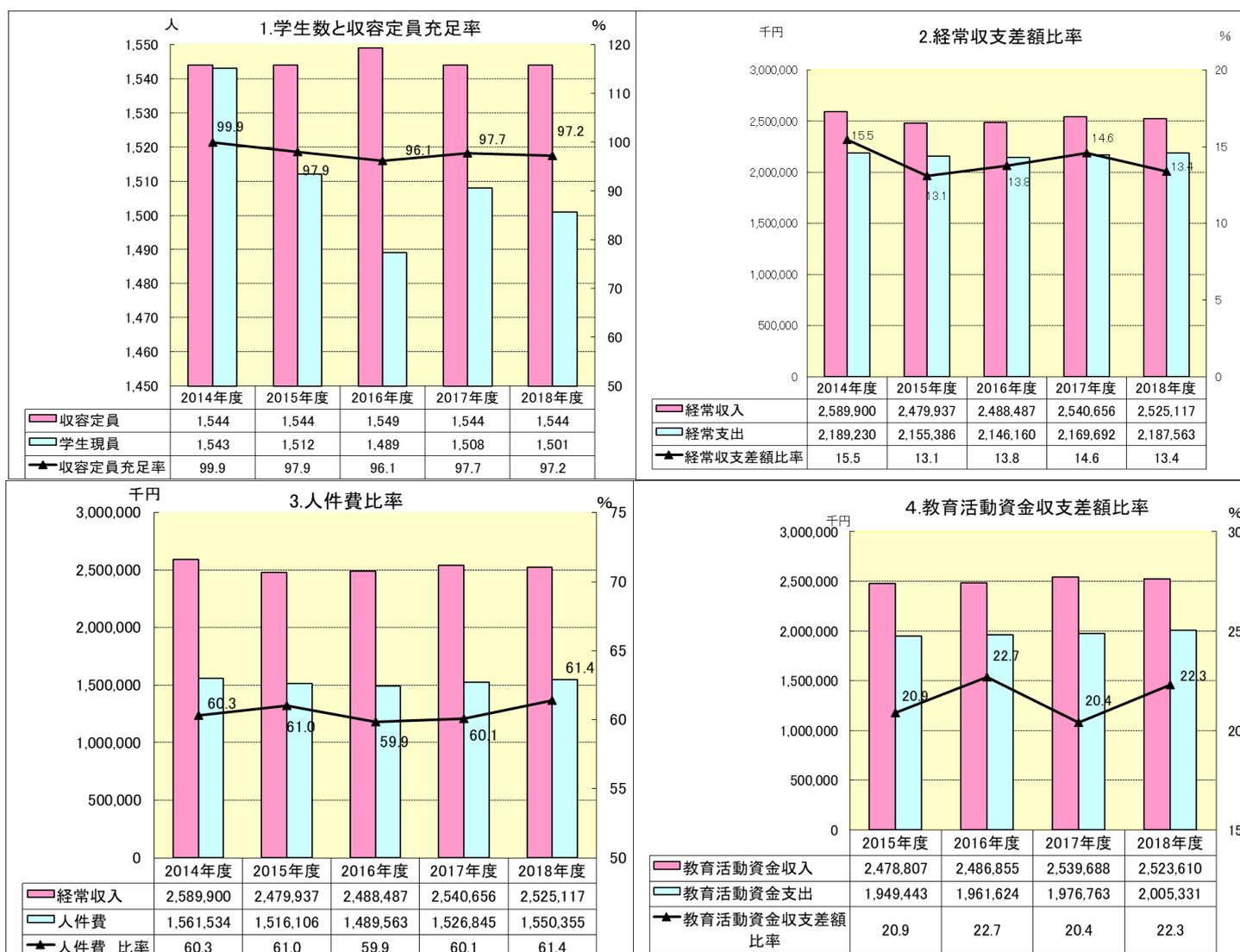
③ 経常収支差額比率 = 経常収支差額 ÷ 経常収入

※2014年度以前は「帰属収支差額比率」からの組み替えて表示してあります。

④ 教育活動資金収支差額比率 = 教育活動資金収支差額 ÷ 教育活動資金収入計
 教育活動でキャッシュフローが生み出されているかを表したものです。

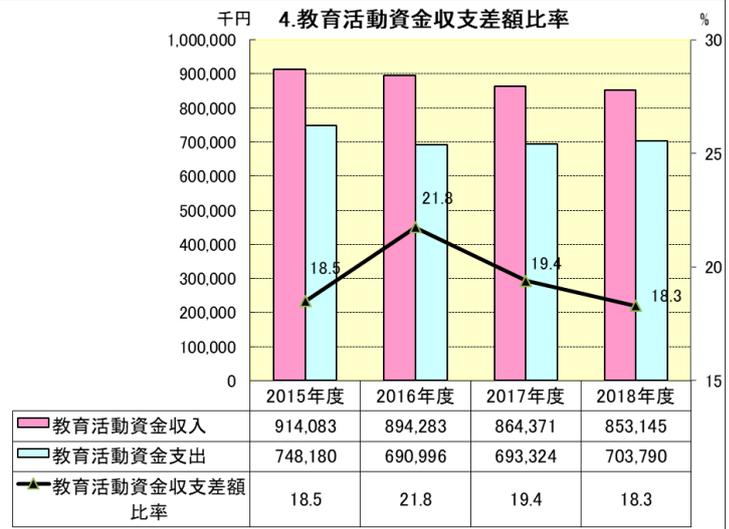
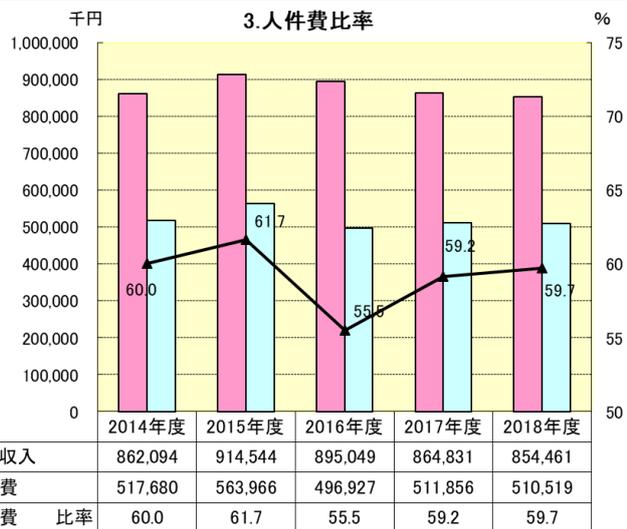
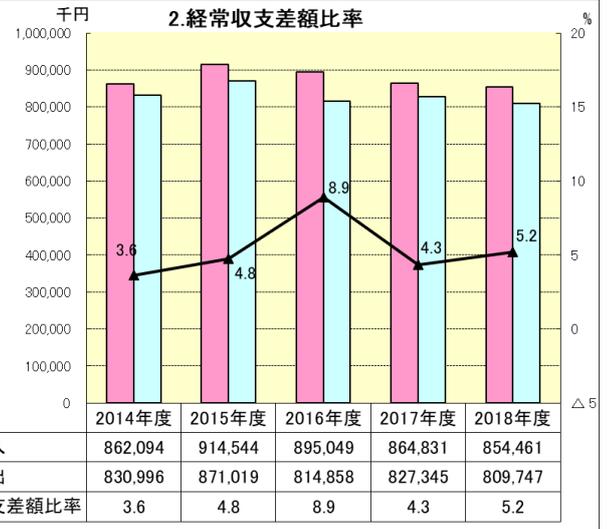
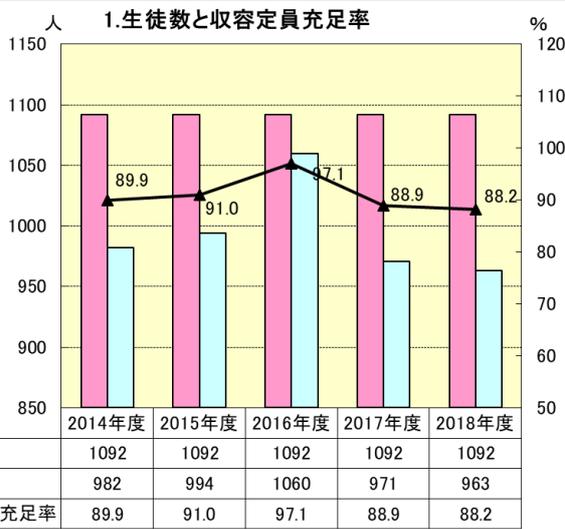
聖隷クリストファー大学

2018年度決算（大学全体）



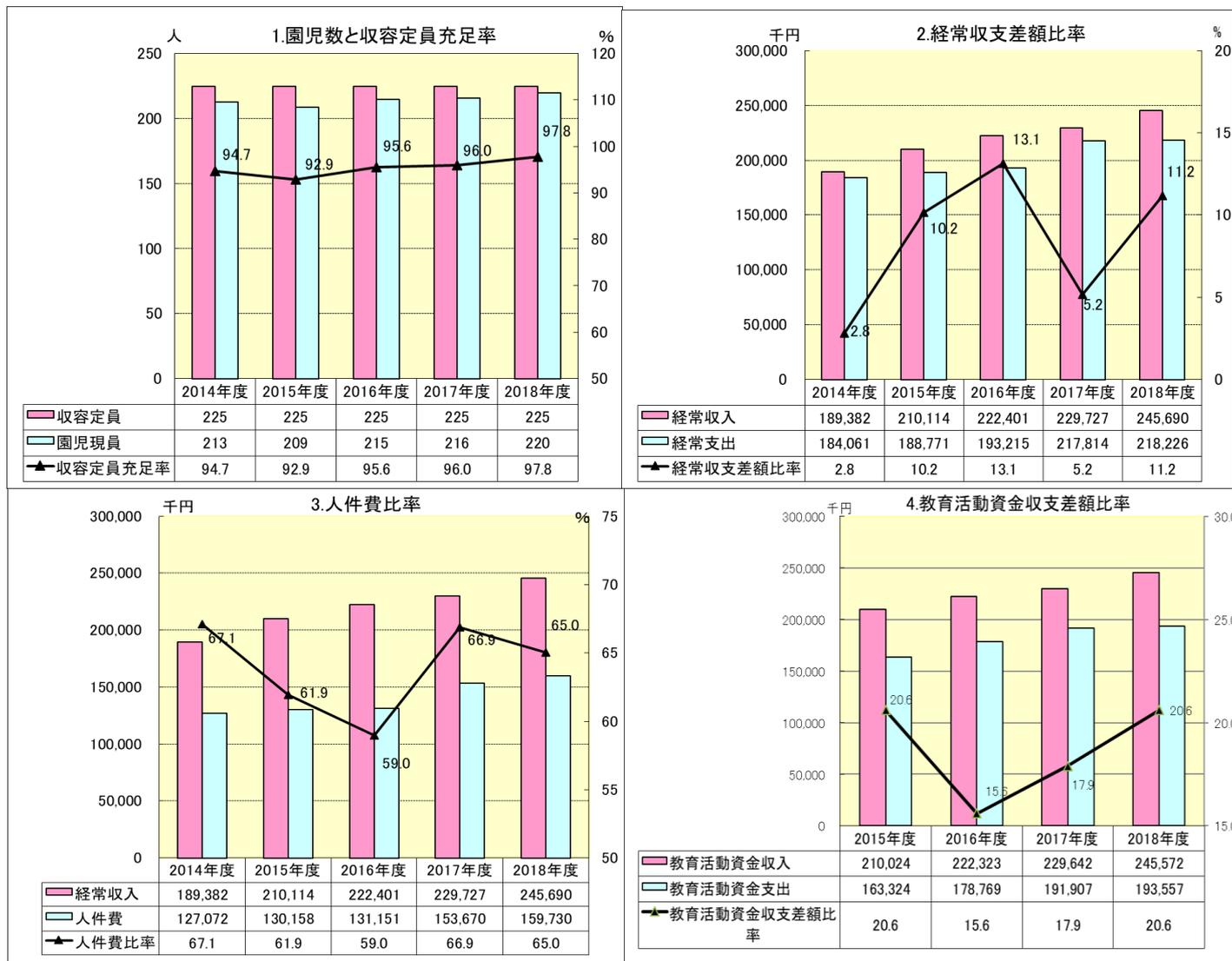
聖隷クリストファー中・高等学校

2018年度決算（中・高等学校）



聖隷クリストファー大学附属クリストファーこども園

2018年度決算（こども園）



聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校は、開設3年(2016年4月開設)のため財務比率のみ掲載します。

	収容定員	学生現員数	定員充足率	人件費比率	経常収支差額比率	教育活動資金収支差額比率
2016年度	40	22	55.0%	211.9%	△186.7%	52.4%
2017年度	80	47	58.8%	74.3%	△20.1%	△7.7%
2018年度	80	45	56.3%	91.8%	△25.3%	△13.5%

4 その他

(1) 借入金の状況

(単位:円)

借入先	期末残高	摘要
		使 途
日本私立学校振興・共済事業団	819,100,000	大学5号館建築、運動場用地 労作用地、セミナーハウス棟建築
遠州信用金庫中川支店	319,600,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
りそな銀行浜松支店	126,640,000	高校校舎建築、大学2号館建築
浜松磐田信用金庫三方原支店	369,610,000	高校校舎用地購入、運動場整備 校舎建築、大学2号館建築
静岡銀行浜松営業部	319,900,000	大学2号館建築、高校校舎建築 大学3号館建築
合 計	1,954,850,000	

(2) 寄付金の状況

(単位:円)

区分	氏 名	金 額	用途・品目等
一般寄付金	個人(1名)	75,000	
	聖隷クリストファー中・高等学校PTA様	1,720,171	
	聖隷クリストファー中・高等学校後援会様	804,600	
	聖隷クリストファー中・高等学校学年会計	740,449	
	合 計	3,340,220	
特別寄付金	個人 他(99名)	1,211,338	奨学資金、図書購入資金、部活動支援
	聖隷クリストファー大学同窓会様	490,000	図書購入資金 他
	聖隷クリストファー大学後援会様	17,088,765	スクールバス経費、学生食堂光熱水費 他
	聖隷クリストファー中・高等学校後援会様	31,326,572	スクールバス経費
	聖隷クリストファー中・高等学校PTA様	444,952	学生用コピー用紙補助、カフェテリア経費
	合 計	50,561,627	
現物寄付金	個人(32名)	11,159,280	科研費補助金購入備品 他
	クリストファーこども園2017年度卒園生様	57,672	
	聖隷クリストファー高等学校2018年度卒業生様	1,525,000	50型液晶テレビ、校歌(讃美歌)CDセット
	聖隷クリストファー中・高等学校PTA様	598,104	Ipad Wi-Hi32GB 13台
	合 計	13,340,056	

寄付金合計

67,241,903

(3) 補助金の状況

(単位:円)

補助金名称	交付団体	施設	決定金額
私立大学等経常費補助金	日本私立学校振興・共済事業団	大学	248,604,000
理科教育設備整備費等補助金	文部科学省	中学	113,000
私立学校経常費補助金	静岡県	高校	313,500,000
		中学	51,223,000
私立専修学校運営費補助金	静岡県	専門学校	2,097,000
高等学校等就学支援金事務費補助金	静岡県	高校	689,000
私立学校スクールカウンセラー配置等事業費補助金	静岡県	高校	600,000
平成30年度私立学校災害用備蓄用品整備事業費補助金	静岡県	高校	47,000
		中学	11,000
私立幼稚園緊急環境整備事業費補助金	静岡県	こども園	188,000
結核健康診断費補助金	浜松市	大学	346,968
		高校	246,168
		専門学校	19,656
私立学校教育振興事業費補助金	浜松市	高校	1,082,400
		中学	601,600
施設型給付費	浜松市	こども園	146,901,608
私立保育所等入所児童処遇向上費補助金	浜松市	こども園	10,961,000
私立保育所等事業費補助金	浜松市	こども園	17,092,680
浜松市在園児下の子の優先利用支援事業費補助金	浜松市	こども園	1,466,000
浜松市幼稚園型一時預かり事業費補助金	浜松市	こども園	1,445,000
合計			797,235,080

(4) 関連当事者等との取引の状況

関連当事者等との取引の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

属性	役員、法人等の名称	住所	資本金又は出資金	事業内容又は職業	議決権の所有割合	関係の内容		取引の内容	取引金額	勘定科目	期末残高
						役員の兼任等	事業上の関係				
理事長	長谷川 了	—	—	—	—	—	—	当法人の借入に対する債務被保証 (注1)	771,820,000	—	—
理事	山本 敏博	—	—	社会福祉法人 聖隷福祉事業団 理事長	—	—	設備の賃借	実習控室借用料(注2)	3,888,000	教育研究経費	—
						—	健康診断委託	学生生徒検診委託料(注2)	3,716,620	教育研究経費	—
						—	実習受入	実習受入謝礼(注2)	4,937,550	教育研究経費	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

※取引金額は消費税込み

(注1)当法人は、金融機関等からの借入に対して、理事長 長谷川了より債務保証を受けており、取引金額は平成31年3月末残高である。なお、保証料の支払いは行っていない。

(注2)理事 山本敏博が、第三者(社会福祉法人 聖隷福祉事業団)の代表者として行っている取引である。取引条件は双方協議の上、契約等に基づき決定している。

(5) 経営判断指標に基づく学校法人経営状態の区分

日本私立学校振興・共済事業団では、私立学校への適切な指導を行うために、学校法人の経営状態を定量的な指標により14通りに分類しています。この指標に基づき自己診断したところ、本学園は経常収支差額比率7.1%で、A3ランクに分類され、財務状況は正常な状態にあります。

